新得町地域公共交通総合連携計画

(素案)

平成25年3月

新得町

この計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号)第6条に基づいて設置された新得町地域公共交通活性化協議会における協議を経て、第7期新得町総合計画(後期計画)に基づき、町の関連計画との整合性を図りながら、同法第5条による地域公共交通総合連携計画として新得町が策定したものです。

新得町地域公共交通総合連携計画 目次

1. 新得町の現况と課題	1
1. 地域や公共交通の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 公共交通に対する住民ニーズ・意見等	5
3. 地域公共交通の活性化に向けた課題	8
Ⅱ. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ	
一体的な推進に関する基本的な方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
Ⅲ. 計画の区域 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9
IV. 計画の目標	10
V. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項 ·············	11
1. 施策の体系	11
2. 実施事業の内容及び実施主体等	12
VI. 計画期間 ·····	16
Ⅷ. その他計画の実施に関し新得町が必要と認める事項	17

I. 新得町の現況と課題

1. 地域や公共交通の現況

(1)地域の現況

1)新得町の概況

新得町は十勝の最西部に位置し、東西30.76km、南北62.29km、総面積1,063.79平方kmで、南北に細長く、面積は東京都の約1/2を有しており、東は鹿追町、上士幌町、南は清水町、西は上川管内南富良野町、北は同管内美瑛町、上川町に接しています。

総面積の約90%が森林地帯で、北部一帯 (83,690ha) は国有林が占めており、さらに その2/3が大雪山国立公園に指定されています。

また、南部は十勝川流域の屈足地域、佐幌川流域の新得地域、その中間台地の上佐幌地域の3地帯に分かれており、それぞれ農耕地帯となっています。

総人口は、平成24年12月末現在で6,536人、世帯数3,364世帯となっており、昭和50年 以降は減少しつづけているとともに、少子高齢化が進んでいます。

北部の大雪山系や西南部の日高山脈の影響を受け、寒暖差の激しい内陸的気候の特徴を有しており、「そば」づくりに大変適した気候であることから、品質の高い「そば」が栽培されています。(作付面積は220ha(平成23年度))

また、酪農・畜産も盛んで牛の飼育頭数は人口の約5倍にあたる33,800頭余りに上ります。

2) 地域の構造

新得町内の市街地は、新得駅を中心とした新得地区と、新得地区から約6km東に位置する屈足地区の2箇所に分かれて位置しています。医療施設の多くは新得市街地に立地しており、屈足地区には医療施設がありません。

また、新得市街地の中心をJRが南北に通っているため、住居が多い西地区と商業・ 業務施設が多い東地区が分断されています。

市街地の外には広範な農耕地帯が広がるとともに、サホロ地区は狩勝高原を中心に、 乗馬、スキー、カヌー、ゴルフ、宿泊施設などが揃う北海道でも有数のリゾート地となっています。

(2)公共交通の状況

本町では、JR根室本線、路線バス、タクシーが公共交通としての役割を担っています。

1) JR根室本線

新得町の市街地中心部にJR新得駅が立地しており、新得駅には根室本線と石勝線が乗り入れています。

新得駅に停車する普通列車は、一日に帯広方面へ向かう列車が11本、富良野・滝川方面へ向かう列車が7本運行しています。新夕張・札幌方面へは特急列車のみの運行となっています。

帯広・釧路方面と札幌駅を連絡する特急列車(スーパーとかち、スーパーおおぞら) は全便が新得駅に停車し、一日に札幌方面への12本と帯広・釧路方面への12本の計24本 が運行しています。(平成25年1月現在)

2) 路線バス

北海道拓殖バス株式会社が、新得町南新得と帯広駅バスターミナルとを結ぶ「新得帯 広線」を運行しており、平日は4往復の計8便ですが、休日は帯広行きが2便、新得行 きが1便の計3便の運行となっています。

また、学校登校日のみ運行する通学利用を主目的とした路線バスが2路線あり、屈足温泉と南新得を結ぶ「屈足線」が2往復4便、上佐幌と新得駅を結ぶ「上佐幌線」が1往復運行しており、児童生徒以外も利用できます。さらに「屈足線」と同様の路線で南新得と屈足市街地を結ぶ「通院線」を火曜日と金曜日のみ日1便運行しています。(平成25年1月現在)

表 1 路線バス時刻表

	新帯線	新帯線	新帯線	通院線	新帯線	屈足線	屈足線
		平日のみ	平日のみ	火・金のみ		登校日のみ	登校日のみ
南新得	7:30	8:50	11:20	12:35	14:10	15:55	17:20
新得駅前	7:40	9:00	11:30	12:45	14:20	16:05	17:30
佐幌6号	7:48	9:08	11:38	12:53	14:28	16:13	17:38
屈足22号	7:53	9:13	11:43	1	14:33	1	1
幸町4丁目	7:55	9:15	11:45	12:57	14:35	16:18	17:43
屈足22号	1	\downarrow		13:00	1	16:21	17:46
くったり温泉	\downarrow	\downarrow	↓		1	16:31	17:56
鹿追営業所	8:10	9:30	12:00		14:50		
帯広駅前	9.10	10.30	13.00		15.50		

	上佐幌線
	登校日のみ
新得駅	16:40
佐幌6号	16:58
旧上佐幌小	17:05
上佐幌20号	17:10

	屈足線	新帯線	新帯線	新帯線	屈足線	新帯線
	登校日のみ	平日のみ	平日のみ	平日のみ	登校日のみ	
帯広駅前		7:15	9:30	13:00		15:45
鹿追営業所		8:22	10:30	14:00		16:45
くったり温泉	7:37	\downarrow	↓	\downarrow	16:35	\downarrow
屈足22号	7:47	\downarrow	\downarrow	\downarrow	16:45	\downarrow
幸町4丁目	7:50	8:36	10:44	14:14	16:48	17:04
屈足22号	\downarrow	8:39	10:47	14:17	\downarrow	17:07
佐幌6号	7:58	8:45	10:53	14:23	16:56	17:13
新得駅前	8:05	8:52	11:00	14:30	17:03	17:20
南新得	8:13	9:00	11:08	14:38	17:11	17:28

	上佐幌線
	登校日のみ
上佐幌20号	7:15
旧上佐幌小	7:20
佐幌6号	7:36
新得駅	7:48

3) 都市間バス

帯広ー旭川間の都市間バス「ノースライナー (狩勝峠経由)」が新得役場前を経由して3往復6便運行しており、新得町からは旭川方面への利用ができます。帯広方面行きは降車のみとなり、乗車はできません。(平成24年11月現在)

4) タクシー

町内のタクシー会社は、株式会社新交通と新得ハイヤー有限会社の2社であり、町内の公共交通としての一翼を担っています。また、スクールバスの運行を請け負っています。

5) スクールバス等

北方面(北新得)と西方面(畜産試験場)の郊外部に居住する児童・生徒の通学用に、スクールバスが2路線運行しています。また、南方面では児童生徒数が少ないため、乗合ハイヤー運行を行っています。さらに、上佐幌方面へは下校時刻がバスに合わない児童は乗合ハイヤーで帰宅しています。

また、町有バス3台を保有しており、学校行事、町民大学、少年団、患者輸送、町の 各種行事の時に利用しています。

表 2 町内の各公共交通における主な利用対象や役割など

区分	主な利用対象	主な役割	運行主体
JR	・住民全般 ・観光客・ビジネス 客	・住民の近隣市町への移動(通 勤・通学・通院・買物等) ・住民の札幌ほか遠隔地の都市 への移動 ・道内・道外からの観光客・ビ ジネス客の町への来訪	・JR北海道
路線バス	・住民全般(自動車 を運転しない方)	・町内の移動、帯広市への移動 (通勤・通学・通院・買物等)	・拓殖バス
都市間バス	• 住民全般	・旭川市への移動	・拓殖バス・道北バス・ 十勝バス共同運行
タクシー	• 住民全般	・町内及び近隣市町への移動	・新交通・新得ハイヤー
スクール バス等	・農村部に居住の児 童・生徒	・農村部から各小中学校への通学	・新得町(運行委託)

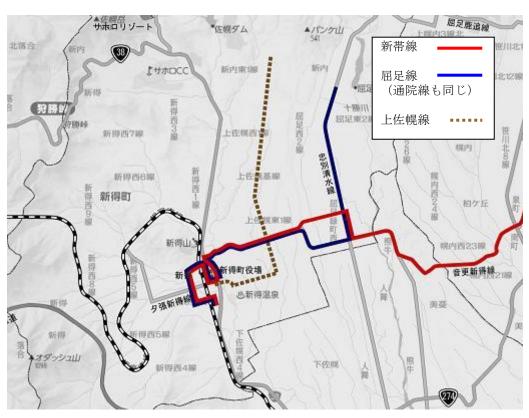


図 1 新得町の公共交通の状況(JR・路線バス)

2. 公共交通に対する住民ニーズ・意見等

(1) 公共交通に関する新得町民アンケート調査

1) ねらい

「現状の町民の移動実態」「公共交通のニーズ・評価・問題点」や、コミュニティバスなどの「新たな交通サービス」に対する意向や課題を把握するために、町民アンケート調査を実施しました。

2)調査の概要

実施時期:平成24年10月24日から配布、返信期限11月15日。

対 象:新得町内全世帯。

配布回収:郵送配布。郵送回収。総回収数 838 票(回収率 24.8%)。

3) 結果の概要

<自動車利用について>

- ○回答者の3/4は自動車運転免許を保有し、ふだんから自動車を運転しています。
- ○自動車運転を続ける年齢は「70代まで」「80代まで」がそれぞれ4割です。
- ○運転できなくなった場合の移動手段は、バスが4割と最も多くなっています。
- ○家に自動車が無い人は、約13%となっています。

<普段の外出移動について>

- ○出かける頻度の高い目的は、通勤・通学に次いで買物・飲食等となっています。
- ○全ての目的で、自分で自動車を運転して移動する割合が6割以上を占めています。
- ○比較的公共交通の利用割合が多い目的は、通院・治療となっています。
- ○新得市街東地区の中での移動や、東地区と西地区との行き来が多く、町外では帯広 方面との行き来が多くなっています。
- ○現在公共交通を使っている移動量は少なく、帯広方面など一部の方向に限られています。

<公共交通への町民評価>

○利用しないので分からないという町民も多いですが、否定的な評価よりも、肯定的 な評価が比較的多くなっています。

<コミュニティバスについて>

- ○コミュニティバスの利用意向は約4割で、週2~3回か週1回程度使いたいという 割合が多くあります。
- ○利用目的としては、買物・飲食等や通院・治療等が多く、利用時間としては午前中 の希望が多くなっています。
- ○コミュニティバスを利用して行きたい場所は、病院などが多く、地区としては新得市街東地区の割合が多くなっています。
- ○料金100円とした場合は適当であるとの回答が2/3を占めています。

(2) コミュニティバスの実証運行調査

1) ねらい

次年度以降の本格運行を目指している「コミュニティバス」について、実証運行を行い利用者の実態やニーズを把握することで、本格運行に向けた運行内容改善検討の資料とするために調査を実施しています。

2) 結果の概要

<秋期調査(平成 24 年 10 月 15 日~11 月 3 日)>

- ○総乗車人数 414 人(1 日当り 20.7 人)
- ○期間後半で利用が定着し、最終週の日あたり乗車人数は30.8人。
- ○屈足地区と新得駅を結ぶ「屈足地区ルート」や市街地西地区を循環し新得駅と結ぶ 「西地区ルート」の利用者が比較的多く、「東地区ルート」の利用者は少ない傾向 です。
- ○新得駅での乗降者数が圧倒的に多く、ルート途中で乗降する利用者は少ない傾向で す。

〔以下、乗客アンケート結果から〕

- ○女性、高齢者の利用が多く、買物や通院、その他を目的とした利用が多くなっています。新得駅で降車した方の2割がJRに乗り継いでおり、8割は駅周辺施設が目的地でした。
- ○本運行の際の料金(予定 100 円)については、適切との評価が 5 割、安いが 4 割を 占めました。
- ○ルートのきめ細かさと所要時間は、適切との評価が7割を占めました。
- ○本格運行の際も利用したいとする意見が約9割です。

<冬期調査(平成25年2月11日~3月2日)>

- ○総乗車人数 793 人(1 日当り 44.1 人)
- ○市街地西地区・東地区を循環し新得駅と結ぶ「新得市街地線」のうち西地区での利用が多く、また、屈足地区と新得駅を結ぶ「屈足地区線」の利用も多い傾向にあります。一方、「新得市街地線」のうち東地区や、サホロリゾートと新得駅を結ぶ「サホロ線」の利用者は少ない傾向です。

〔以下、乗客アンケート結果から〕

○秋期と同様に、女性、高齢者の利用が多くありました。買物や会合・趣味、通院、 その他を目的とした利用が多くなっています。

- ○ルートのきめ細かさと所要時間は、適切との評価が7割を占めました。
- ○秋期の実証運行と比べて「便利になった」という方が2割、「変わらない」2割弱、「分からない」は6割強との評価でした。
- ○本運行の際も利用したいとする意見が約9割です。
- ○本運行の際の料金(予定 100 円) については、適切との評価が 6 割、安いが 3 割を 占めました。
- ○本運行の際の利用目的は「買い物・飲食」との回答が最も多く、次いで「通院・治療」「会合・趣味」が多い傾向でした。
- ○上記の目的でコミュニティバスが無い場合に使う交通手段は、多い方から「路線バス」「タクシー」「徒歩」「自家用車を自分で運転」との回答で、コミュニティバスを選ぶ理由は「安い」「バス停が近い」というものが大部分を占めました。

(3)路線バス利用実態調査

1) ねらい

帯広市と新得町間を運行している路線バス(北海道拓殖バスの新得帯広線)について、 現在の町内での利用実態を把握するために、調査を実施しました。

2) 結果の概要

[乗降者数実績データから]

- ○新得町内での乗降者数は、1便あたり10人弱です。
- ○朝は屈足地域から新得駅に向かう利用が比較的多く、昼や夕方の便では逆に新得駅 から屈足地域へ向かう利用が多くなっています。

〔以下 乗客アンケート結果から〕

- ○学生以外の乗客では、高齢者、女性の割合が高く、通院目的での利用が多くなって います。
- ○観光目的で利用し、新得駅からJRに乗り継ぐ利用もありました。

3. 地域公共交通の活性化に向けた課題

(1) 移動ニーズに即した高齢者・交通弱者に優しい公共交通サービスが必要

町民アンケート調査によると、通院目的で比較的公共交通を利用する割合が高い傾向 にあります。

しかし、新得町の医療施設は新得市街に立地しており、屈足地域には医療施設がないため、新得市街への通院が必要となっています。また新得市街は鉄道によって東西に分断されており、買い物や通院など東西地域間の移動ニーズは多いものの、徒歩での東西間移動は高齢者等には負担が大きい状況です。

さらに、新得市街や屈足地域以外にも、新得町の1,000km²を超す行政域には広大な農村エリアが広がっており、家族の送迎などに頼らざるを得ない高齢者がいます。

以上のことから、高齢者など交通弱者をはじめとする町民の日常生活・活動を支える 足として、移動ニーズに即した公共交通サービスの確保が必要です。

(2) 利用したいと思える公共交通サービスの提供と利用啓発が必要

町民アンケート調査によると、現在自動車を利用して移動している割合が高く、公共 交通の印象は「利用しないので分からない」という方が3分の2を占めるほど、公共交 通に馴染みがない方が多い状況です。

その一方で、年齢的に自動車が運転できなくなった時には、バスを利用するとの回答が最も多く、高齢化が急速に進行するなか、マイカーからの公共交通への転換を積極的に進めることが重要です。

そのため、これまで自動車を利用していた高齢者も利用してみようと思える、魅力と 利便性を備えた公共交通サービスを提供するとともに、利用のきっかけづくりや分かり やすい利用方法の指導などが必要となります。

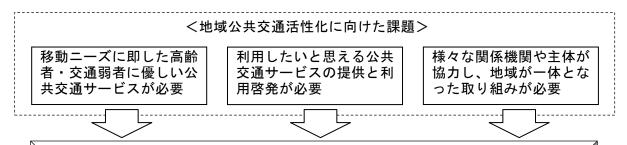
(3) 様々な関係機関や主体が協力し、地域が一体となった取り組みが必要

町民の生活の足の確保は、まちづくり・医療・福祉・学校教育など様々な分野との関連する問題であり、これら分野の関係機関の連携が必要です。また、JR・バス・タクシーなど複数の交通機関が存在するなか、これらが連携し全体としての交通サービス利便を確保・向上することも重要です。

そこで、行政や交通事業者のみならず、地域住民・商店・医療機関など、町内の様々な関係機関や主体が公共交通に関する課題を共有化し、各主体が自らができることを積極的に実施し、まちが一体となって公共交通の活性化に取り組んでいくことが必要です。

Ⅱ. 地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針

新得町における公共交通をとりまく課題等を踏まえ、新得町の地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針を以下のように定めます。



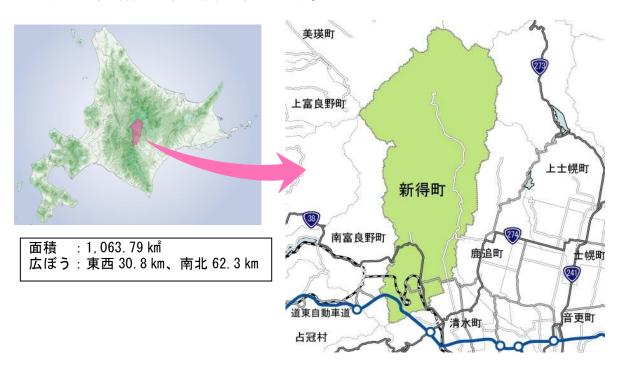
<地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針>

町の将来を支える公共交通を地域が一丸となって実現

将来にわたって地域に安心して住み続けることができるための公共交通サービスを、地域の関係者(地域住民、行政、交通事業者、医療・福祉、商業・観光事業者等)全体で検討し、協力して作りあげていきます。

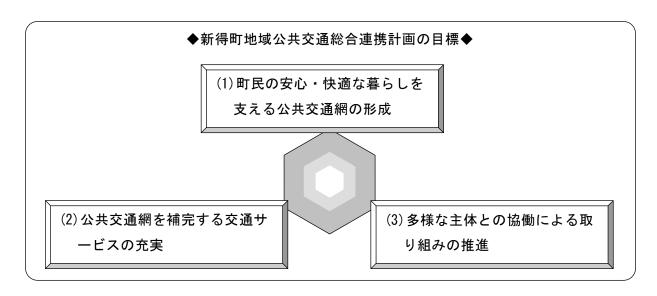
Ⅲ、計画の区域

この計画は、新得町全域を対象区域とします。



Ⅳ. 計画の目標

「地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針」を踏ま え、本計画の目指す目標を次のように設定します。



(1) 町民の安心・快適な暮らしを支える公共交通網の形成

町民の日常生活・活動を支える足として、町内各地域と市街地を循環するコミュニティバスの運行を行うとともに、路線バスや鉄道のサービス維持と向上にも努めます。

JR・バス・コミュニティバスの結節点である新得駅の交通拠点・情報拠点の機能強化を図るなど、複数の交通機関を組み合わせた「公共交通網」の利便性を向上していきます。

(2) 公共交通網を補完する交通サービスの充実

新得町の郊外部には広大な農村エリアが広がっており、路線バスやコミュニティバスなどの公共交通網では対応できない地域が存在し、また高齢や障がい等の理由で公共交通の利用が困難な方もいます。

タクシーや福祉輸送などで公共交通網を補完することで、全ての方が交通サービスを 受けられる環境づくりを図っていきます。

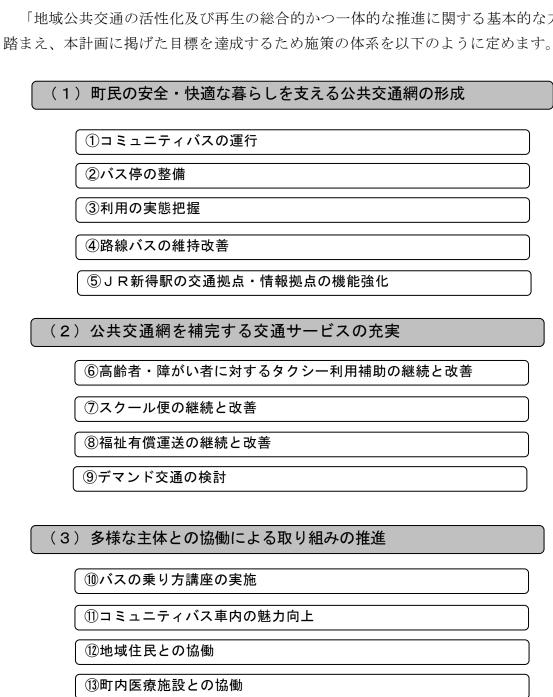
(3) 多様な主体との協働による取り組みの推進

町民・商店・医療施設等との連携と協働により、コミュニティバスのバス待ち環境を 改善するなどの取り組みを図ります。また、公共交通に馴染みの薄い町民にも、抵抗な く興味を持って利用して頂くために、コミュニティバス自体の魅力向上や丁寧な利用方 法講習などの取り組みを、町内団体との連携のもとで推進します。

V. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

1. 施策の体系

「地域公共交通の活性化及び再生の総合的かつ一体的な推進に関する基本的な方針」を



14町内商店との協働

2. 実施事業の内容及び実施主体等

(1) 町民の安心・快適な暮らしを支える公共交通網の形成

①コミュニティバスの運行

事業内容	・高齢者等をはじめとする町民に対し、買物・通院など日常生活の移動をサポー
	トしていくため、町中心部と町内各地域とを循環するコミュニティバスを運行
	します。
実施方針	・運行に当たっては、平成24年度の実証運行の結果を踏まえて、経路・時刻・便
	数等の設定を行います。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者

②バス停の整備

事業内容	・コミュニティバスの停留所の整備を行います。
実施方針	・実証運行(H24年度)の結果をもとに、沿道施設と連携協力しながら、分かりや
	すいバス停留所を整備します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者

③利用の実態把握

事業内容	・コミュニティバスの利用者意向把握調査を適宜行います。
実施方針	・利用者意向把握調査を適宜行い、継続的な利便性改善に取り組みます。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者

④路線バスの維持・改善

事業内容	・バス事業者や周辺自治体との連携体制づくり。
実施方針	・バス事業者やバス沿線の他自治体との密接な連携体制づくりを行うことで、路
	線バスの利用促進、継続的な運行とサービス改善を目指します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者、周辺自治体

⑤ J R新得駅の交通拠点・情報拠点の機能強化

事業内容	・各種交通情報の一元化と発信。
実施方針	・JR・コミュニティバス・路線バス・ホテル送迎バス・タクシーなど各種交通
	機関の交通拠点であるJR新得駅について、それら交通機関の事業者と連携し
	ながら交通機能や情報機能などの強化を図ります。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者

(2)公共交通網を補完する交通サービスの充実

⑥高齢者・障がい者に対するタクシー利用補助の継続と改善

事業内容	・高齢者・障がい者に対する町からのタクシー利用クーポン配布の継続。	
	・利用状況や利用ニーズを踏まえた、補助制度の改善と見直し。	
実施方針	・公共交通の利用が困難な高齢者や障がい者などに対し、交通手段の確保と経済	
	的な負担の軽減を図ります。	
着手時期	・平成25年度	
事業主体	・新得町	

⑦スクール便の継続と改善

事業内容	・スクール便や帰宅用タクシー委託等の取り組みを継続し、必要に応じて改善を
	図ります。
実施方針	・郊外部に住む児童生徒の通学・帰宅の足の確保に向け、路線バス・コミュニテ
	ィバスとの連携を図りつつ、生徒の利便性と効率性を検討のうえ、必要な交通
	サービスを提供します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町 (教育委員会)、公共交通事業者

⑧福祉有償輸送の継続と改善

事業内容	・福祉有償輸送の取組みを継続し、必要に応じて改善を図ります。
実施方針	・福祉団体が主体となり、公共交通の利用が困難な高齢者や障がい者などへの交
	通手段の提供を図ります。
着手時期	・平成25年度
事業主体	· 社会福祉協議会、福祉団体、新得町

⑨デマンド交通の検討

事業内容	・デマンド交通の実施可能性の検討。
実施方針	・路線バスやコミュニティバスではサービス困難な地域を対象に、デマンド交通
	の導入可能性を検討します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町

(3) 多様な主体との協働による取り組みの推進

⑩バスの乗り方講座の実施

事業内容	・いきいきサロンや町内会行事等と連携し、コミュニティバスの乗り方について	
	の出前講座と体験試乗会を行います。	
実施方針	・主に高齢者を対象に、慣れない公共交通に対して利用してみるきっかけづくり	
	を行い、丁寧な説明で心理的な抵抗を減らす取り組みを進めます。	
着手時期	・平成25年度	
事業主体	・新得町、社会福祉協議会、町内会	

①コミュニティバス車内の魅力向上

事業内容	・車内において児童生徒の作品展示や学校活動報告掲示、各種団体からのお知ら	
	せ掲示を行うなど、バスに乗ること自体に魅力を感じられる取り組みを進めま	
	す。	
実施方針	・町内の文化活動やコミュニティ活動ほか関連団体との調整のもと、コミュニテ	
	ィバスを町民の交流空間や情報発信媒体として活用します。	
着手時期	・平成25年度	
事業主体	・新得町 (教育委員会)、公共交通事業者など	

⑫地域住民との協働

事業内容	・冬期間のコミュニティバスの各バス停の除雪など、地域住民が主体となって公
	共交通サービスの改善に取り組んでいく仕組みづくりを進めます。
実施方針	・バス停管理における地域との協働の可能性を検討し、順次推進します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、公共交通事業者、町内会

③町内医療施設との協働

事業内容	・可能な限り医療施設入り口の近くにバス停を設置するとともに、バス停の管理	
	や待合空間の提供を医療施設が行うなど、協働による取組みを進めます。	
実施方針	・通院での公共交通利用ニーズが高いことから、医療施設との協議のもと、可能	
	な連携方策を検討し、順次推進します。	
着手時期	・平成25年度	
事業主体	・新得町、各医療施設	

①町内商店・飲食店との協働

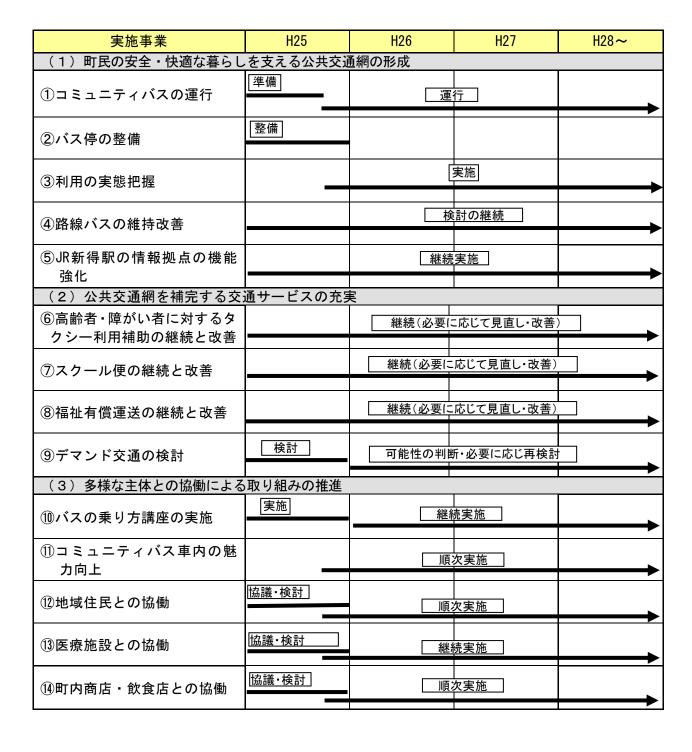
事業内容	・コミュニティバスの各バス停に近接する商店等において、店舗内や風除室での
	椅子設置などバス待合環境づくりを進めます。
	・コミュニティバス利用者に対して地元商店や飲食店で利用促進につながる付加
	サービスを検討します。
実施方針	・コミュニティバスの利用状況を踏まえ、コミュニティバスの利用者増と地元で
	の買い物客や飲食客増に向けた対策について、商工会等関係機関と協議検討を
	行い実施します。
着手時期	・平成25年度
事業主体	・新得町、商工会、観光協会、各商店・飲食店

VI. 計画期間

本計画は、公共交通事業者をはじめ町内会や商工会など関係団体との十分な連携・協議による推進が必要不可欠であることから、必要に応じて計画について協議を行い、改善を行うこととします。

連携計画に定める各事業については、新得町地域公共交通活性化協議会において協議・調整を図りつつ、当面は以下のように実施していくこととします。

また、今後の町民生活や経済状況の変化を的確に把握しながら、本計画を進行管理していくこととし、計画の変更が必要な際には、関係機関との協議の上、柔軟に見直しを行います。



WI. その他計画の実施に関し新得町が必要と認める事項

本計画に掲げた、「町の将来を支える公共交通を地域が一丸となって実現」するために、事業者・町民・行政が協議・協力して各種事業の推進を図らなければなりません。

資 料

- I. 各種調査結果など
 - 1. 公共交通に関する町民アンケート調査
 - 2. コミュニティバスの実証運行調査(秋期運行分)
 - 3. コミュニティバスの実証運行調査(冬期運行分)
 - 4. 既存路線バスの乗降実態調査
- Ⅱ. 新得町地域公共交通活性化協議会の名簿・要綱・取組経緯
 - 1. 名簿
 - 2. 要綱
 - 3. 取組経緯

I. 各種調査結果など

1. 公共交通に関する新得町民アンケート調査

(1)調査概要

1)調査の目的

バスだけではなく、自家用車やタクシー等による移動も含めた「現状の町民の移動実態」 を調査することにより広義の公共交通に対する潜在的ニーズ (利用可能性) や、コミュニティバスなどの「新たな交通サービス」に対する意向や課題を把握する。

2)調査の対象

• 実施地域 : 新得町全域

・対象 : 新得町の全世帯。

世帯人員のうち公共交通をよく利用する方あるいは世帯主に回答を依頼。

·配布数 : 3,378 票 (平成24年10月末世帯数)

3)配布回収状況

・配布 : 郵送にて配布 (平成 24 年 10 月 25 日~26 日)

・回収 : 郵送にて回収(返信用封筒を同封)

· 回収数 : 838 票

·回収率 : 24.8% (838/3,378=24.8%)

4)調査票

公共交通に関する新得町民アンケート調査

アンケート調査へのご協力のお願い

町民の皆様には、町政に対する日頃からのご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

この調査は、今後の新得町における公共交通のあり方を検討するために、町民の方々の「普段の移動 交通手段」や「コミュニティバスに関するお考え・ご意見」などをお聞きするもので、新得町内全世帯 へ配布しています。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力下さいますようお願いいたします。

また、調査結果は統計的な処理を基本とし、回答者ご本人およびご家族の方にご迷惑をおかけすることはございません。

なお、お答えいただいた本アンケート調査票は、返信用封筒にて<u>平成24年11月15日(木)</u>までに返信くださるようよろしくお願いします。(切手不要)

2012年 10月 新得町地域公共交通活性化協議会(事務局:新得町役場地域戦略室)

【ご記入のお願い】

◆ 本調査の回答は、自動車を運転しない高齢者の方など、普段の生活でバスやタクシーを利用されている方にお願いします。

普段の生活で<u>バスやタクシーを利用されている方がいらっしゃらない場合は、世帯主の</u>方に回答をお願いします。事業所など、居住者がいない場合は回答不要です。

- ◆ 氏名の記入は不要です。
- ◆ 調査の実施(配布・回収・分析等)は、下記の調査機関に委託しております。

問い合わせ先 (株)ドーコン 総合計画部 担当:佐竹・岡本 TEL 011-801-1555 FAX 011-801-1556

問 1 あなた自身やご家族のことについてお尋ねします。	
(1) あなたの性別および年齢は。(性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きく性別 (2) (1) あなたの性別および年齢は。(性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きく年別 (1) あなたの性別および年齢は。(性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きく年齢は大枠内にお書きく年別 (2) (性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きく年別 (1) あなたの性別および年齢は。(性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きくります。 (2) (性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きくります。) (2) (性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きくります。) (2) (性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きくります。) (2) (性別は1つに〇、年齢は太枠内にお書きくります。)	(ださい)
(2) あなたの職業は。(1つに〇)	
①会社員 ②公務員·団体等職員 ③自営業 ④農林業 ⑤高校生	
⑥大学・専門学校生等 ⑦専業主婦 ⑧無職 ⑨その他 ()
(3) あなたの居住地の郵便番号は。(太枠内にお書きください) 0 8 1 — ※郵便番号が分からない場合は、新規	余白に住所を記入下さい
(4) あなたは自動車の運転免許をお持ちですか。(1つにO) ①持っている ②持っていない	
(5) ご家族のうち、あなた以外で自動車の免許を持っている方はいますか。 ①いる ②いない	(1つに0)

見聞きページへ

問2 あなたの普段の外出等についてお尋ねします。

以下に示す、「(1) 通勤・通学」、「(2) 通院・治療」、「(3) 買物・飲食等」、「(4) 会合・趣味活動」のそれぞれの目的に関し、記入例を参考に、「ア. 回数」「イ. 行き先」「ウ. 交通手段(夏期と冬期のそれぞれ)」の各該当部分に〇をつけてください。

行き先が①新得町内の場合、() に施設名や住所名を記入。 例:新得高校、本通南、屈足など ②町外の場合、() に市町村名を記入。

7 5

	ア. 出かける回数	イ. 主な行き先	ウ. 主な交通手段(各1つにO)		
	(1つに0)	(1つに0、()に記入)	夏期	冬期	
(1) 通勤 · 通学	①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥該当なし	①新得町内 () ②町外 ()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他 ()	

	ア. 出かける回数	イ. 主な行き先	ウ. 主な交通手	ウ. 主な交通手段(各1つにO)	
	(1つに0)	(1つに0、()に記入)	夏期	冬期	
(2) 通院 · 治療	①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥該当なし	①新得町内 () ②町外 ()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④ J R ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他 ()	

	ア. 出かける回数	イ. 主な行き先	ウ. 主な交通手段(各1つに〇)		
	(1つに0)	(1つに0、()に記入)	夏期	冬期	
(3) 買物 ・ 飲食 等	①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥該当なし	①新得町内 () ②町外 ()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()	

	ア. 出かける回数	イ. 主な行き先	ウ. 主な交通手	段(各1つに0)
	(1つに0)	(1つに0、()に記入)	夏期	冬期
(4) 会合 • 趣 活動	①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥該当なし	①新得町内 () ②町外 ()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()	①徒歩 ②自転車・バイク ③バス ④JR ⑤タクシー・ハイヤー ⑥自動車を自分で運転 ⑦家族等に送迎してもらう ⑧その他()

問3 自動車利用についてお尋ねします。

(1) あなたの家に、自動車はありますか。(1つに〇)

①ある ②ない



- (2) あなたは普段、自動車を運転しますか。(1つに〇)
 - ①運転する ②運転しない

(2-1) 上の問いで、「①運転する」と回答した方にお尋ねします。

- 1) 今後何歳くらいまで、自動車を運転する予定ですか。(枠内にお書きください) 歳くらいまで
- 2) 将来あなたが運転できなくなった場合、移動手段はどのようにしますか。 (1つに0)

①バスを利用する ②家族に送迎してもらう ③知人に送迎してもらう ④タクシーを利用する ⑤その他(

問4 路線バスに対する評価をお尋ねします。

(1) 現在の新得町内の路線バスについて、どのような印象をお持ちですか。

(1つに0)

① 満足している ② おおむね満足 ③ どちらでもない

④ やや不満

⑤ 不満

⑥ 利用しないのでわからない



(2) 現在の町内の路線バスには、どのような問題点があると思いますか。(いくつでも可)

①バスが行きたいところを通らない。

②バス路線がわかりにくい。

③バス停が近くにない。

④バスの本数が少ない。

⑤バス運賃が高い。

⑥JRとの乗り換えが不便だ。

上記の具体内容や その他の問題点



問5 コミュニティバスの運行についておたずねします。

現在、町では、高齢化社会も踏まえ町民の皆様の買物や通院等の利便性を高めるために、市	节街
地内の主要箇所を循環する「コミュニティバス」の導入を検討しています。これについて、も	あな
たのお考えをお聞かせください。	

コミュニティバスについては、本年度、別紙のような日程・便数で「実証運行」を行います。 皆様、ぜひご利用ください。 (1) あなたは、このようなコミュニティバスを利用したいと思いますか。(1つに〇)

①利用したい	②利用しない	③わからない	④その他 (
		·= 0+1-11+ +		

(1-1) <u>利用したいとお答えの方</u>におたずねします。 どのような利用が考えられるか、以下にお答えください。

●どのくらい利用したいですか。(1つにO) ①ほぼ毎日 ②週2~3回 ③週1回程度 ④月2~3回程度 ⑤月1回程度 ⑥わからない

●主にどのような目的に利用したいですか。(いくつでも可) ①通勤・通学 ②通院・治療 ③買物・飲食等 ④会合・趣味活動

⑤その他(

・主に利用したい時間帯はいつですか。(いくつでも可)

①朝 8 時~9 時ごろ ②9 時~12 時ごろ ③12 時~15 時ごろ ④15 時~17 時ごろ ⑤17 時~19 時ごろ ⑥わからない ⑦その他()

●コミュニティバスを利用して行きたい新得町内の施設や場所について、ご記入ください。

(2)全ての方にお聞きします。

バス停は、あなたの自宅から徒歩で何分くらいにあるのが良いと思いますか。(1つに〇)

①3分以内 ②3~5分以内 ③5~10分以内 ④15分以内 ⑤わからない

(3) 料金は一律大人 100 円、小中学生 50 円とする予定ですが、いかがですか。(1 つにO)

①適当 ②高い ③安い ④わからない ⑤その他()

その他、コミュニティバスの運行アイデアやご意見のほか、町内の公共交通全般に関するご意見 等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。 ご記入済みのアンケート調査票は、返信用封 筒に入れ、11月15日(木)までに投函して下さい。切手は不要です。

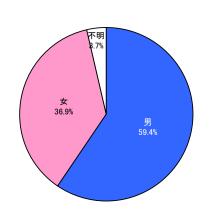
(2)調査結果

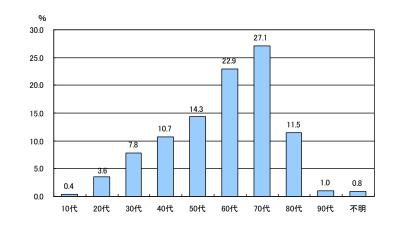
1)回答者属性

ア)性別・年齢

回答者の性別構成は、男性59%、女性37%と男性が多い。

年齢構成は70代が27%、60代23%、80代が11%を占め、高齢者の回答割合が多い。

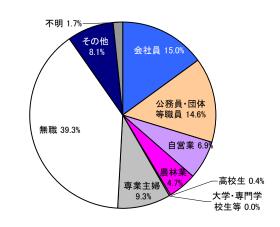




イ)職業

「あなたの職業は」という設問に対して、無職が39%と最も多く、次いで会社員が15%となった。

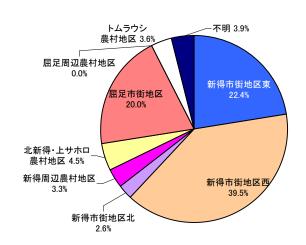
職業	人
会社員	126
公務員•団体等職員	122
自営業	58
農林業	40
高校生	3
大学•専門学校生等	0
専業主婦	78
無職	329
その他	68
不明	14
合計	838



ウ)住所

回答者の「居住地の郵便番号」からエリア別に集計けした。新得市街地区西が最も多く 39%、次いで新得市街地区東が 22%、屈足市街地区が 20%となった。

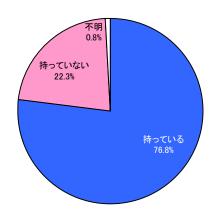
住所	人
新得市街地区東	188
新得市街地区西	331
新得市街地区北	22
新得周辺農村地区	28
北新得・上サホロ農村地区	38
屈足市街地区	168
屈足周辺農村地区	0
トムラウシ農村地区	30
不明	33
合計	838



2) 自動車利用

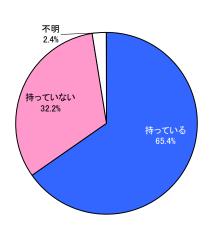
ア) 自動車運転免許保有

「あなたは自動車の運転免許をお持ちですか。」という設問に対して、持っているが 77%、持っていないが 22%と、運転免許を持っている割合は高い。



イ) 家族の自動車運転免許保有

「ご家族のうち、あなた以外で自動車の免許を持っている方はいますか。」という設問に対して、持っているが 65%、持っていないが 32%となった。



ウ)自動車保有

「あなたの家に、自動車はありますか。」という設問に対して、あるが86%、ないが13%となった。



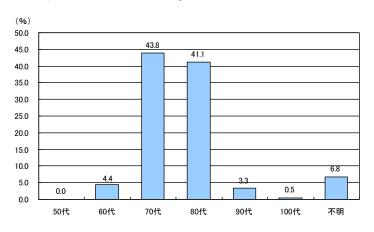
エ) 普段の自動車運転

「あなたは普段、自動車を運転しますか。」という設問に対して、運転するが 75%、運転しないが 22%となった。



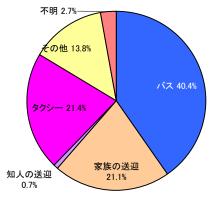
オ) 自動車の運転を続ける予定の年齢

「今後何歳くらいまで、自動車を運転する予定ですか。」という設問に対して、70 代が 最も多く 43.8%を占め、次いで 80 代が 41.1%となった。



カ) 自動車に代わる移動手段

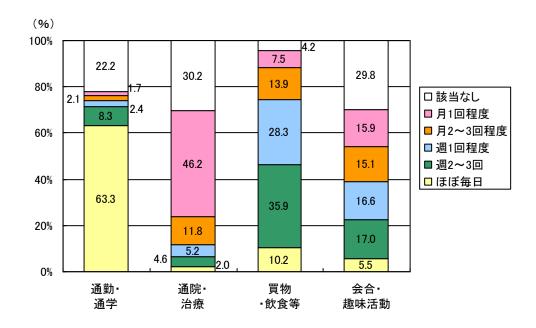
「将来あなたが運転できなくなった場合、移動手段はどのようにしますか。」という設問に対して、バスが最も多く 40.4%、次いで、タクシーが 21.4%、家族に送迎してもらうが 21.1%となった。



3) 外出移動実態

ア) 目的別外出頻度

「普段の外出等についてお尋ねします」という設問で目的別の外出頻度を質問している。通勤・通学については「ほぼ毎日」が 63%を占め、通院・治療は「月 1 回程度(46%)」の、買物・飲食等は「週 $2\sim3$ 回(36%)」、会合・趣味活動は「週 $2\sim3$ 回(17%)」との頻度回答が多かった。



イ) 目的別手段構成 (夏・冬)

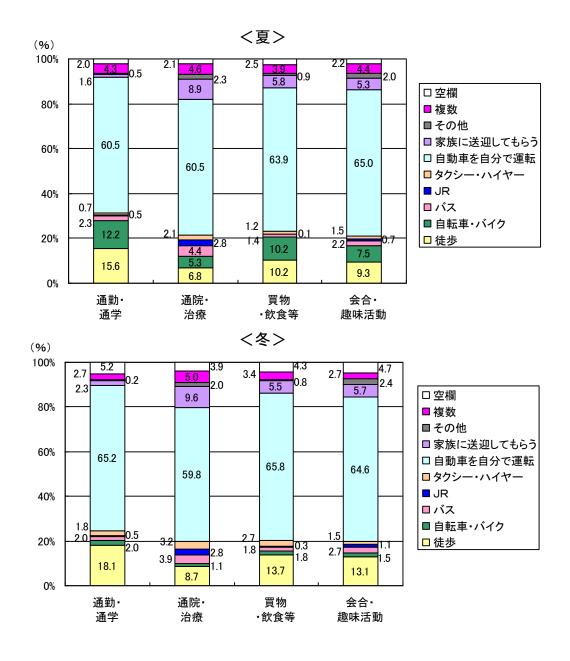
「あなたの普段の外出等についてお尋ねします」という設問では、「季節別の主な交通 手段」についても質問している。

目的別・季節別に交通手段構成を集計※した。

その結果、いずれの季節・目的においても「自動車を自分で運転」する割合が 6 割程度 を占めた。

また、公共交通である「バス」「JR」の割合を見ると、「通院・治療」で比較的利用割合が多く、夏季では「バス」4.4%「JR」2.8%、冬期では「バス」3.9%「JR」2.8%となった。

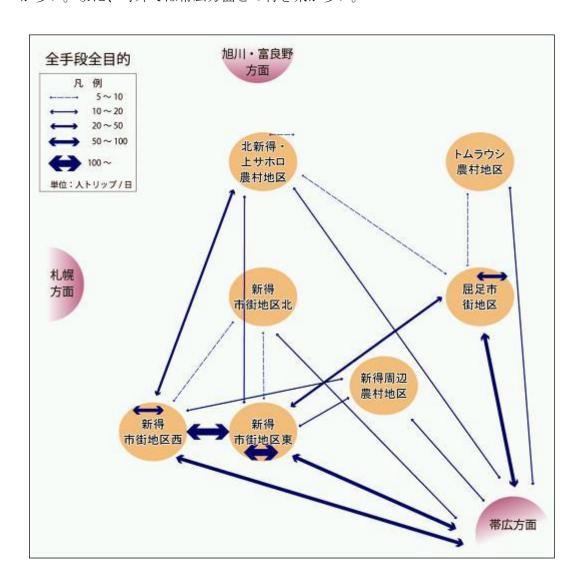
※手段構成の集計は頻度の大小による重み付けは行っていない。



ウ) 全手段での町民移動(サンプルベース)

「普段の外出等の目的地」と「住所」から町民の移動量を集計した。

その結果、全手段では、新得市街地区東の内々移動と新得市街地区東と西の間での移動 が多い。また、町外では帯広方面との行き来が多い。

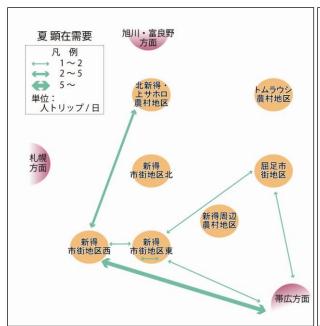


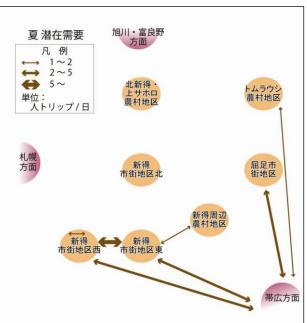
エ)公共交通需要(夏)(サンプルベース)

町民の移動量のうち、夏季の主な交通手段から「公共交通」に関連する需要[※]部分を取り出した。

その結果、公共交通に関連する顕在需要(既に公共交通を利用している移動の量)は、 非常に少なく、帯広方面など一部の方向に限られており、エリア内での移動量も少ない。 また、潜在需要(需要にマッチした公共交通があれば利用する可能性がある移動の量) については市街地西と東地区の間や各エリアから帯広方面の移動が比較的多く見られ る。

> ※顕在需要は交通手段に「路線バス」「JR」を含む移動ODを集計 ※潜在需要は顕在需要に該当しないことを前提に「タクシー・ハイヤー」 「家族等に送迎してもらう」を移動手段に含むもの。





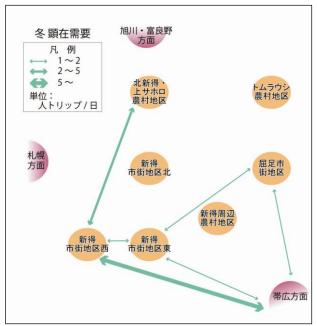
参考表:回答者住所での需要量集計

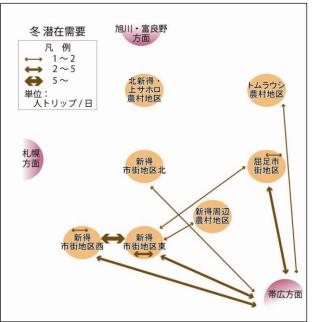
発地集計(住所エリア)	夏・顕在需要 (TE)	夏・潜在需要 (TE)
新得市街地区東	3. 7	8.1
新得市街地区西	9. 0	25. 2
新得市街地区北	0.4	1.4
新得周辺農村地区	0.0	3.9
北新得・上サホロ農村地区	7. 3	0.3
屈足市街地区	7. 7	17. 5
トムラウシ農村地区	0.0	1.7
不明	3.9	2.6
総計	32. 0	60.8

オ)公共交通需要(冬)(サンプルベース)

夏季と同様に、冬季の主な交通手段から「公共交通」に関連する需要部分を取り出した。 その結果、冬季についても公共交通に関連する顕在需要(既に公共交通を利用している 移動の量)は、非常に少なく、帯広方面など一部の方向に限られており、エリア内での 移動量も少ない。

また、冬季の潜在需要 (需要にマッチした公共交通があれば利用する可能性がある移動の量) についても、夏季と同様に市街地西と東地区の間や各エリアから帯広方面の移動が比較的多く見られる。





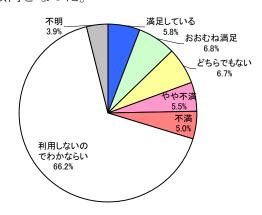
参考表:回答者住所での需要量集計

発地集計(住所エリア)	冬・顕在需要(TE)	冬・潜在需要 (TE)
新得市街地区東	3. 6	9.6
新得市街地区西	10. 7	35. 6
新得市街地区北	0. 4	2. 1
新得周辺農村地区	0.0	5. 2
北新得・上サホロ農村地区	7. 3	0.5
屈足市街地区	7. 7	19. 7
トムラウシ農村地区	0.0	1.7
不明	3. 9	2.4
総計	33. 5	76. 9

4) 公共交通の利用実態と評価

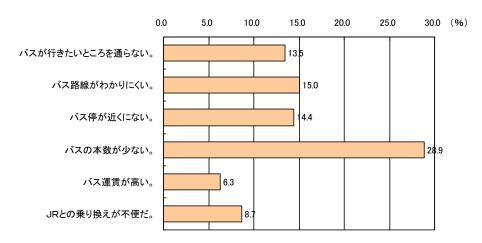
ア) 町内路線バスの印象

「現在の新得町内の路線バスについて、どのような印象をお持ちですか。」という設問に対して、「利用しないのでわからない」が 66%と多かったが、「満足している」と「おおむね満足」の合計で 13%、「不満」と「やや不満」で 11%と、両者の比較では、やや肯定的な評価が多い傾向となった。



イ) 町内路線バスの問題点

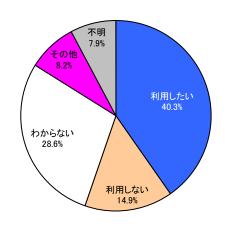
「現在の町内の路線バスには、どのような問題点があると思いますか。」という設問に対して、「バスの本数が少ない。」が 29% と最も指摘が多くなっている。



5) コミュニティバスの運行について

ア)利用意向

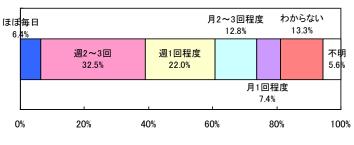
「(町では市街地内の主要箇所を循環するコミュニティバスを検討していますが) あなたは、このようなコミュニティバスを利用したいと思いますか。」という設問に対して、「利用したい」が 40%を占めた。



く以下「利用したい」方に対し、どのような利用が考えられるか>

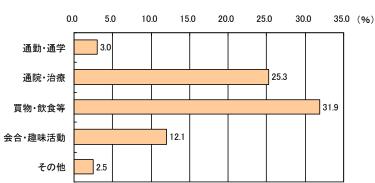
①利用頻度

「どのくらい利用したいですか」という設問に対して、「週 $2\sim3$ 回」が32%、「週1回程度」が22%を占めた。



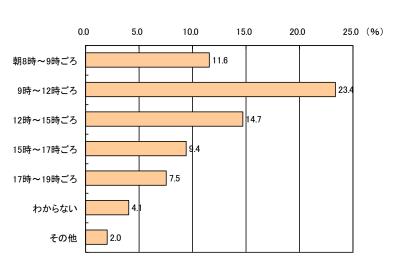
②利用目的

「主にどのような目的に利用したいですか」という設問に対して、買物・飲食等が32%と最も多く、次いで通院・治療が25%となった。



③利用時間帯

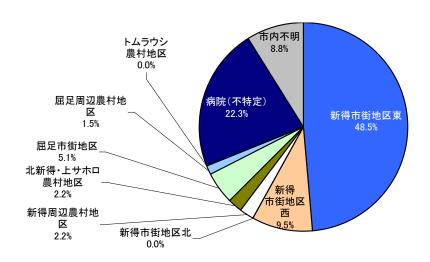
「主に利用したい時間帯はいっですか。」という設問に対して、9 時 \sim 12 時ごろがもっとも多く 23%、次いで 12 時 \sim 15 時ごろが 15%となった。



④利用して行きたい施設・場所

「コミュニティバスを利用して行きたい新得町内の施設や場所について、ご記入ください。」という設問に対して、新得市街地区東が最も多く 49%、次いで新得市街地区西が 9%となった。また、具体の施設名称ではないためエリア集計は出来なかったが、「病院」 との回答も 22%を占めた。

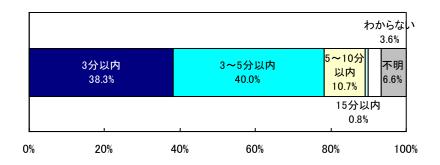
※「スーパー」「商店」との回答については、「新得市街地区東」または「屈足市街地区」 のうち、回答者居住エリアに近い方として集計処理した。



					コミュ	ニティバ	スを利用	して行き	たい施設	・場所		
			1	2	3	4	5	6	7	8		
			新得市 街地区	新得市 街地区	新得市 街地区	新得周 辺農村	北新得 ・上サホロ	屈足 市街	屈足周 辺農村	トムラウ シ農村	「病院」 (不特	所在 不明
			東	西	北	地区	農村地区	地区	地区	地区	定)	
	1	新得市街地区東	25	3	0	4	2	3	1	0	12	2
	2	新得市街地区西	54	11	0	0	1	3	0	0	20	11
	3	新得市街地区北	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	4	新得周辺農村地 区	4	2	0	0	0	1	0	0	3	2
居住工	5	北新得・上サホ ロ農村地区	3	0	0	1	1	0	0	0	1	3
ーリア	6	屈足市街地区	39	8	0	1	2	6	2	0	18	2
	7	屈足周辺農村地 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8	トムラウシ農村 地区	4	1	0	0	0	1	1	0	4	2
	9	市内不明	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2
		合計	133	26	0	6	6	14	4	0	61	24

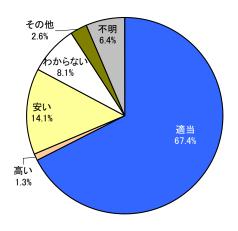
イ) 自宅からバス停までの希望

「バス停は、あなたの自宅から徒歩で何分くらいにあるのが良いと思いますか。」という設問に対して、 $3\sim5$ 分以内が最も多く、40.0% を占め、次いで3 分以内が38.3% となった。



ウ) 料金(100円)の評価

「料金は一律大人 100 円、小中学生 50 円とする予定ですが、いかがですか。」という 設間に対して、適当が 67.4%と最も多く、安いが 14.1%、高いが 1.3%となった。



エ) コミュニティバスや公共交通全般などに対する意見(自由回答)

【コミュニティバスの改善に関する御意見】

意見分類	意見数	意見内容の例
コミュニティバ		・東西地区を一回りする便があれば良いと思う(病院を利用し易
ス路線について	31	いと思う) ・目的地に着くまでにグルグル遠回りして時間がかかりすぎるのと、西地区から東地区へ行くのに、新得駅で乗り換えしなければならないのなら、歩いた方が早いのではないか。 ・自宅近くの停留所から乗った場合、駅での乗り換え時間がかか
	31	りすぎ。車の運転が出来なくなったら利用したいと思うので。 ・屈足地区は屈足のみ巡回するバスでないと用事が足せないと思う(週数回だけでも巡回すると利用しやすいのではと思う。)屈 足から北生団地経由は時間のロスが大きい。路線バスのバス停 位で時間帯(本数)が増えると良いと思う。あまりう回すると バスに酔うのとロスが多い。
コミュニティバ		・冬場のバス停で待つのは厳しいと思います。バス停でお年寄り が立って待つのは大変です。ベンチ式のイスがあればいいと思
ス停について	23	う。 ・仮の停留所だと思うのですが、わかりにくい。 ・バス停が細かすぎるのでは?小さな町なのだから町内は乗り換え無しでもよいと思う。
コミュニティバ		・屈足地区に関して午前中1便の運行では不便。時間的に無理か もしれないが午前中2便運行を。
スの時刻・便数	18	・行きの時刻と帰りの時刻の間隔が長すぎて利用できない。毎日 でなくとも良いので、曜日を決め、東西南に一日としたほうが
について		良い。
コミュニティバ スの運賃につい て	11	・定期券のようなものがあればいいのでは。 ・コミュニティバスは町民の税金で運行すると思うのですが、大 人一律 100 円子供 50 円で予定とありますが、赤字にはならない ですか。利用者が少なかったら 100 円では安いのでは。 ・老人・小・中学生は無料にしてほしい。毎日利用するとなると、 100 円・50 円でも高い。
コミバス車両に ついて	10	・左ひざと股関節に人工骨が入りましたのでとても日常生活は大変です。足が弱くなり外出は段々できなくなりましたので、コミュニティバスは乗降台が低く非常に乗りやすく有難いと思います。出来るだけ利用させて頂きたく思っております。3回利用させてもらいましたが、とても快適でした。 ・一台当りの乗車人数が、多くないと思うので、維持コストを安くするため小型(定員10人程度)の車両が望ましい。 ・遠くからでも良く見えるバスなので非常に良い(色・柄)
コミュニティバ ス運行に賛成・ 良い	14	・コミュニティバスは免許を持ってない人にとってとても便利なものだと思う。ぜひ続けてほしい。 ・現在、自動車を運転して行っていますが、近い将来、運転が出来なくなるので大いに利用させて頂きます。 ・大変良いと思います。永く続けて欲しい。特に冬期間。 ・夏は良かったと思う。冬の運行に期待する。
時刻表など	8	・時刻表、バス停がわかりづらい。・バスの写真、路線図をカラーなどでもっとわかりやすく。
郊外コミバス路線	6	・乗客が少なくても、農村地域にも1日数回運行するべきと思う。 ・週に2~3回で良いので農家の方も巡回をお願いしたい。今回 の取り組み大変感謝致している。
フリー乗降	9	・バス停以外でも乗降できると便利。・コミュニティバスの運行は大賛成です。できれば停留所は定めず、手を上げてどこでも乗り降りできればより良いと思う。

【コミュニティバス以外にも関する御意見】

意見分類	意見数	意見内容の例
バス路線	5	・十勝は公共の交通機関が乏しい。1日1本でも良いから、帯広の総合病院や清水日赤病院まで、朝一(8:00)、帰り(17:00)の便があれば利用者は増えると思う。家にこもりがちになる冬期こそ本数を増やすべきだと思う。
バス停	1	・都市間バス(旭川方面)の新得の停留所に簡易でよいから風雪 や風除けの建物が有ったら良いと思う。
バスの時刻・便数	7	・一番不便を感じているのは屈足地区ではないか。屈足からは歩いては絶対に行けないので屈足地区の方に多く(バスを)利用して欲しい。金曜の夜だけでも深夜便を設けてみてはどうか。 ・通院の時間帯への配慮を。
バスの運賃	5	・割引になるプリペイドカード等が有るとよい・1日パスを作ってはどうか。5割増し位で往復できれば利用者はかなり増えると思う。
バス車両	1	・膝関節痛のため、バスの乗り降りが容易でない。
バスとJR	2	・帯広市内の病院に通院している老人が多くいる。始発のJRに 乗れるように屈足から運行してもらわないと、この先不安。
コミュニティバス以外のご提案	15	 ・コミュニティバスは不便。お金の無駄で辞めたほうが良い。その分、ハイヤー代一部を負担するほうがうれしい。 ・バス停が近くにない、行きたい所まで時間がかかるなど利用したい人にはいろいろな不満があり、利用者が少ないように思う。コミュニティバスではなく、タクシーの補助はどうか。(回数、年齢は決めて実施) ・町内移動の足とともに、町外からの来訪、町外への訪問のため都市間バス、JRとの連携をとれるように事業者間の仲立ちを行政ができるとよい。
その他の取り組み提案	20	 ・バスの中に商店の特売の張り紙コーナー、飲食店情報。バスの外の車体に企業のコマーシャル看板。買物ツアーバスを月に1度他の町へ。以上すべて有料で。福祉ボランティア等で行っている弁当(老人向け)の配達をこのバスに乗せて、老人にバス停近くに取りに来てもらう。 ・税金を導入していないのであれば、料金・路線・時間帯は問題ないと思う。税金が導入されるのであれば料金・路線見直しか中止すべきだ。 ・町民一人1枚無料バス券を発行して「とりあえず乗ってみよう」という意欲、行動が起きるようにしたらよいと思う。バスの中に幼・保の子供の絵をかざるとか移動以外に「乗ってみたい」と思わせたら必然的に乗ると思う。
その他	34	 ・新得町から高速道路に乗れるようにしてください。 ・病院が屈足には少ないのでちょっとした風邪をひいたときに不便。 ・夏の間は足の運動に歩きたいが、冬は滑るので、バスに乗りたい。 ・アンケート調査の件、業者任せにするのではなく、職員が足を運んで、住民の生の声を聞いてほしい。 ・町の財政を圧迫するのならどう考えるのか。 ・今のところ、自分が運転するので別に(意見は)ない。

2. コミュニティバスの実証運行調査(秋期運行分)

(1) 実証運行の概要

1) 運行日

· 平成 24 年 10 月 15 日 (月) ~ 平成 24 年 11 月 3 日 (月) (20 日間)

2) 運行路線・便数

	屈足地区	東地区	西地区
	新得駅〜栄町〜北西団地〜か	新得駅~あけぼの~	新得駅~春光~つつ
路線	えで団地~屈足~かえで団地	なごみ~診療所~公	じヶ丘~若草~サホ
岭脉	~北西団地~栄町~新得駅	民館~新得駅	ロクリニック~神社
			町~新得駅
所要時間	58 分	17分	35 分
便数	4 便	5 便	6 便
新得駅前 発車時刻	9:40 13:00 15:15 18:00	8:20 9:20 11:00 14:00 17:00	7:40 8:40 11:20 14:20 16:20 17:20
運行期間	10/15 (月) ~	11/3 (土)	
車両数		1台	

3)調査内容

〔乗降者数調查〕

・バス運転手による便別バス停別乗降客数の記録。

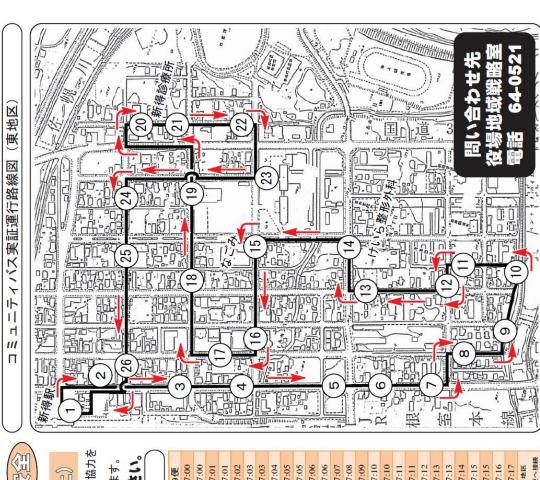
〔利用者ヒアリング調査〕

・調査員がバスに同乗し、乗客に対して聞き取り調査を実施。



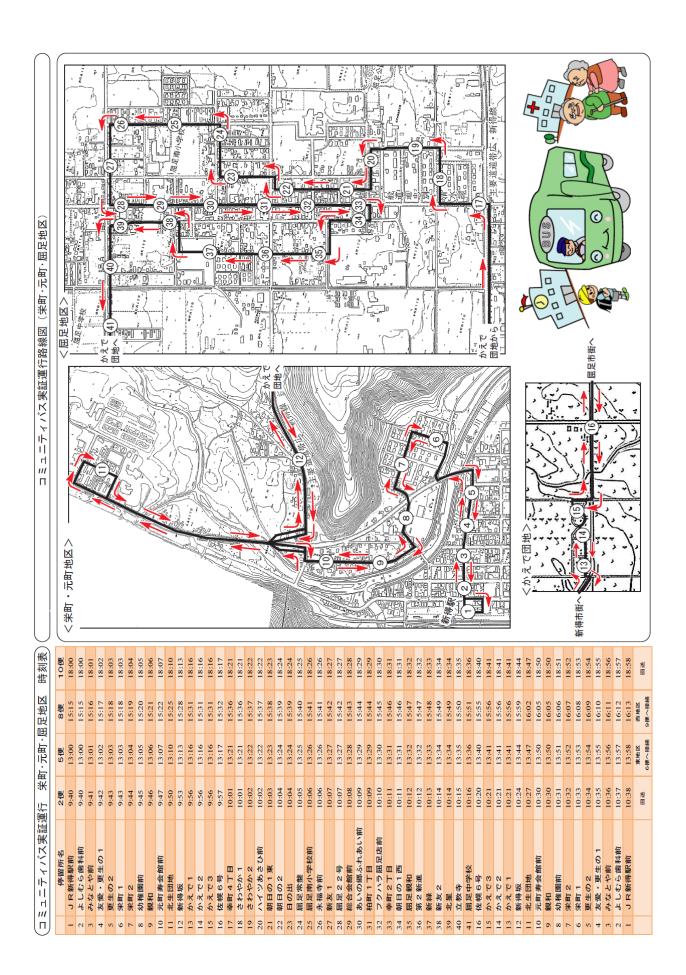


4) 運行時刻表 路線図



北京		5 1			31.5	1	J.			II.				֓֟֞֟֞֟֞֟֟֞֟֟֟֟֟ ֓֓֓֞֓֟֓֟֓֟֓֟֓֟֟֓֟֓֟֓֟֓֟֓	7	-5		V-1		—	, , ,	4		根品		[], }	-D 1H		人士	•	, a, 17.7	以	Part of the second
	(完)	ご協力を	います。		9便	17:00	17:00	17:01	17:01	17:02	17:03	17:03	17:04	17:05	17:05	17:06	17:06	17:07	17:08	17:09	17:10	17:10	17:11	17:11	17:12	17:13	17:13	17:14	17:15	17:15	17:16	17:17	西地区 10 便へ接続
なが		ますので、	子を定して	時刻表	6便	14:00	14:00	14:01	14:01	14:02	14:03	14:03	14:04	14:05	14:05	14:06	14:06	14:07	14:08	14:09	14:10	14:10	14:11	14:11	14:12	14:13	14:13	14:14	14:15	14:15	14:16	14:17	西地区 7便へ接続
得町コミュニティ/ 証運行が始まりま	~44 月 8日	を実施し	(月)~3月2日(土)にも実証運行を予定しています。 各種活動など様々な用途でご利用ください	東地区	3便	11:00	11:00	11:01	11:01	11:02	11:03	11:03	11:04	11:05	11:05	11:06	11:06	11:07	11:08	11:09	11:10	11:10	11:11	11:11	11:12	11:13	11:13	11:14	11:15	11:15	11:16	11:17	西地区 4便へ接続
は記される	()当)	ケート調査	(土) にも) (株々な)	证運行	2便	9:20	9:20	9:21	9:21	9:22	9:23	9:23	9:24	9:25	9:25	9:56	9:56	9:27	9:58	9:29	9:30	9:30	9:31	9:31	9:32	9:33	9:33	9:34	9:35	9:35	9:36	9:37	屈足地区 2便へ接続
コミ	10月18日	単なアン	~3月2日 (活動など	バス実証運行	1便	8:20	8:20	8:21	8:21	8:22	8:23	8:23	8:24	8:25	8:25	8:26	8:26	8:27	8:28	8:29	8:30	8:30	8:31	8:31	8:32	8:33	8:33	8:34	8:35	8:35	8:36	8:37	西地区 2便へ接続
新史	運行興間 40月		25年2月11日(月) 買い物、各種	7	停留所名	JR新得駅前	フクハラ新得店前		馬場クリーニング前	永交	末広1	末広2	あけぼの1	あけぼの2	あけぼの3	あけぼの4	あけぼの5	南進	けいら整形外科	なごみ前	図書館南	エーコープ前	共栄	新栄	新得診療所	温水プール前	町民体育館前	公民館前	わたなべ歯科前	新泉寺前	帯広信用金庫前	JR新得駅前	
		米閣議員	米中天	\bigcup		-	2	3	4	S	9	7	∞	6	10	111	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	-	

. 02 A ÌŢ; (西地区) ュニティバス実証運行路線図 œ ဖြ (6) 030000 030000 111 П 10 便へ接続 17:39 屈足地区 17:35 17:37 17:40 17:43 17:49 17:27 17:28 17:31 17:32 17:33 17:38 17:42 17:44 17:52 17:41 17:51 時刻表 16:23 16:35 16:37 16:39 16:45 16:49 9便~接続 16:24 16:25 16:26 16:27 16:28 16:30 16:33 16:38 16:42 16:43 16:47 16:52 16:53 16:55 16:29 16:32 16:34 16:40 16:44 16:46 16:48 16:50 16:51 16:54 東地区 14:25 14:33 14:35 14:37 14:39 14:43 14:45 14:47 14:49 14:50 14:53 14:23 14:27 14:28 14:31 14:32 14:38 14:41 14:44 14:51 14:52 14:54 選回 阳郑冈 11:29 11:53 11:21 11:23 11:25 11:27 11:30 11:31 11:32 11:33 11:34 11:35 11:36 11:37 11:38 11:39 11:40 11:42 11:43 11:44 11:45 11:47 11:49 11:50 11:52 11:55 11:26 11:28 11:41 11:46 11:48 11:51 11:54 4便 ュニティバス実証運行 2便へ接続 東地区 8:53 8:59 9:03 9:05 9:01 便へ接続 1便7:40 7:55 東地区 7:41 7:47 7:53 7:57 7:58 7:59 8:00 8:03 8:05 8:07 8:09 8:10 7:51 8:01 セイコーマート西3条店前 サホロクリニック前 停留所名 フクハラ新得店前 つつじヶ丘公園 つつじヶ丘1 つつじヶ丘2 つつじヶ丘3 つつじヶ丘4 JR新得駅前 ハプセブン前 なかよし公園 瀬戸内商事前 新得小学校前 JR新得駅前 Ш 小学校入口 若草会館前 ひばり2 ひばり3 さくら1 さくら2 神社町1 新生の1 旧正門前 神社町 2 1001 ひばり 1 ひまわり П しらかば 西栄1 若草1 若草2 西栄2 西和1 西和2 奉陽 春光 10 12 13 14 15 16 17 17 19 20 22 23 23 24 25 25 25 26 25 28 29 30 32 33 33



(2) 秋期コミュニティバス乗降者数調査結果

数字は地区合計 ■ 屈足地区 □東地区 □西地区 <u>16</u> 15 <u>16</u> 12 12 10月 11月

日別地区別乗車人員(人)

【全期間集計 (10/15~11/3)】

	屈足地区	東地区	西地区	地区合計
総乗車人員	175	53	186	414
日あたり乗車人員	8.8	2. 7	9. 3	20.7
便あたり乗車人員	2. 2	0. 5	1.6	1. 4

【10/27~11/3の期間集計】

	屈足地区	東地区	西地区	地区合計
総乗車人員	99	36	111	246
日あたり乗車人員	12.4	4. 5	13.9	30.8
便あたり乗車人員	3. 1	0. 9	2. 3	2. 1

屈足地区	乗	降	東地区	乗	降	西地区	乗	降
新得駅	95	0	新得駅	33	0	新得駅	69	
よしむら歯科	0		フクハラ	1	0	フクハラ	25	
みなとや前	0	0	ハプセブン	1	0	ハプセブン	0	
友愛・更生の1	0	0	馬場クリーニング	0	0	西栄1	0	
更生の2	3		永交	0		なかよし公園	0	
	4		末広1	1		春陽	7	
栄町2	0		末広2	0		春光	0	
/ 	0		あけぼの1	2		セイコーマート	4	
刻框圖的 親和	0		あけぼの2	0		ひばり1	2	
元町寿会館	0		あけぼの3	1		つづじヶ丘1	4	1
北生団地	0		あけぼの4	4	2		1	
新得坂	0		南進1	1		つづじヶ丘2	8	
が行び かえで1	2		南進2	0		つづじヶ丘3	3	_
かえで2	0		けいら整形	0	1		0	
かえで3	4		なごみ前	6		ひばり2	0	
<u> </u>	0		図書館前	1		ひばり3	1	
			エーコープ前				3	
幸町4丁目	4			0		若草会館		
さわやか1	4		共栄	0		若草1	1	
さわやか2	4		新栄	0		しらかば	5	
ハイツあさひ	2		新得診療所	0		若草2	2	
朝日の1東	0		温水プール	0		さくら1	3	
朝日の2	1		町民体育館	0		さくら2	7	
日の出	4		公民館前	0		瀬戸内商事	0	
屈足常盤	0		わたなべ歯科	1		西栄2	1	
屈足南小学校	6		新泉寺前	1		ひまわり	3	
永福寺前	1		信用金庫前	0		西和1	3	
新友1	0		新得駅	0		西和2	8	
屈足22号	1		地区計	53	53	サホロクリニック	2	1
総合会館	10	5				新生の1	1	
あいの郷ふれあい	8	5				新得小学校	1	
柏町1丁目	3	2				旧正門前	0	
フクハラ	1	1				神社1	9	
幸町2丁目	0	0				神社2	2	
朝日の1西	3	1				一心の1	0	
屈足親和	3	1				小学校入り口	0	
第2新進	1	0				新得駅	0	6
新緑	0	1				地区計	175	17
新友2	2	0						
	0	0						
	3	7				地区集計	乗	降
屈足中学校	4	2				屈足地区	186	18
佐幌6号	0	0				東地区	53	5
かえで3	0	2				西地区	175	
かえで2	0	0				総合計	414	41
かえで1	11	2				110 H H I		
新得坂	2	0						
北生団地	0	0						
<u>元工图之</u> 元町寿会館	0	0						
烈可及五<u>阳</u> 	0	0						
然祖 幼稚園前	0	0						
奶框图的 栄町2	0	4						
杰町2 栄町1	0	2						
<u>ポリューーー</u> 更生の2								
	0	6						
友愛・更生の1	0	2						
みなとや前	0	2						
よしむら歯科	0	7						
新得駅	0	79	1					
地区計	186	186						

(3) 秋期コミュニティバス利用者ヒアリング調査結果

1)調査の目的

コミュニティバス運行時の利用状況を把握すると共に、今後の利用可能性などを把握することで、公共交通運行計画(案)の検討資料とする。

2)調査時期:調査対象

- ・平日・休日それぞれ1日の全便を対象に調査。
- ・秋期10月の調査は10/28(日)10/29(月)に実施。
- ・上記以外日程でも町職員による聞き取り調査を適宜実施。

3)調査方法

- ・調査員がバス車内に乗車し、「バス停別の乗降客数」の把握と、乗降する「乗客へのアンケート (聞き取り調査)」を実施。
- ・バス利用者や事業者の大きな負担とならないよう配慮する。

4)調査項目

【乗客への質問項目】 ※は調査員が目視判断

- ・属性 (年齢、性別**、免許の有無)
- ・バス利用実態 (利用目的、乗車バス停※、降車するバス停、行き先)
- ・要望・課題 (コミュニティバスへの要望・課題、本格運行時や有料運行での利 用可能性など)

【乗降数把握項目】注:「路線バス利用状況の把握」と比較分析するため同じ項目で把握。

- ・ 方向別便別バス停乗降客数
- ・児童、生徒、一般、高齢者の4区分で客数を把握。

5)集計結果

調査日		回答数	構成比
10月16日	火	1	1%
10月17日	水	5	6%
10月19日	金	12	16%
10月22日	月	1	1%
10月28日	日	19	25%
10月29日	月	24	31%
10月30日	火	15	19%
合計		77	100%

年齢帯区分	回答数	構成比
1 1子供	0	0%
2 中高生	2	3%
3 一般	17	22%
4 高齢者	57	74%
99 不明	1	1%
合計	77	100%

年齢帯(10歳刻み)	回答数	構成比
10 歳代	2	3%
20 歳代	0	0%
30 歳代	5	6%
40 歳代	1	1%
50 歳代	11	14%
60 歳代	6	8%
70 歳代	35	45%
80 歳代	11	14%
90 歳代	2	3%
不詳	4	5%
合計	77	100%

料金100円の評価	回答数	構成比
1 高い	0	0%
2 適切	31	54%
3 安い	25	44%
4 分からない	1	2%
5 その他	0	0%
合計	57	100%
		無回答除く

所要時間の評価	回答数	構成比
1 もっと早く	3	5%
2 適切	39	68%
3 もっと細かく	2	4%
4 分からない	12	21%
合計	53	93%
		無回答除く

路線	回答数	構成比
東 地区	8	10%
西 地区	33	43%
屈足 地区	36	47%
合計	77	100%

性別		回答数	構成比
1	男性	15	19%
2	女性	60	78%
99	不詳	2	3%
合計		77	100%

移動目的	回答数	構成比
1 通勤•通学	0	0%
2 通院治療	9	12%
3 買物飲食	15	19%
4 会合趣味	0	0%
5 その他	27	35%
6 帰宅	24	31%
2,3	1	1%
99 不明	1	1%
合計	77	100%

JR乗り換え	回答数	構成比
1 有り	6	19%
2 無し	25	81%
合計	31	100%
	12 / D FF	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

新得駅前降車分

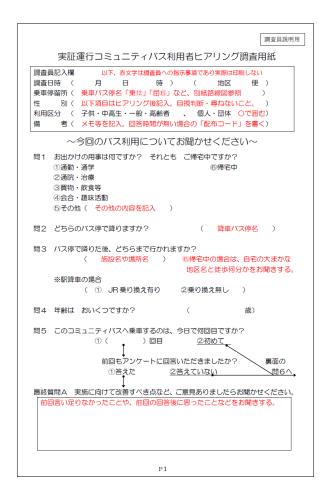
利用意向	回答数	構成比
1 利用する	53	93%
2 利用しない	1	2%
3 分からない	3	5%
合計	57	100%

無回答除く

<自由回答>

	分野	意見
		ぜひこのまま続けてください。
	肯定	月に2回新得の町に行く。要望別に無い。一人で住んでいる。
		冬も利用したい。
	分りにくい	バス停が分かりにくい。
	7) 912(0)	時刻表の字が大きめのものが欲しい。小さくて見づらい。
		立教寺周辺ももう少し中の方も回って欲しい。
	ルート	西地区の路線を利用しているが、逆回りがあったら良いと思った
		南、北にもルートが欲しい。時間ももう少し見直して欲しい。逆ルートが
		あって良いと思う。
改善		13:00 台の便があったらいい。アナウンス欲しい。
		JRの時刻に合わせてもらえると良い。
	ダイヤ	午前中に屈足に帰るバスが欲しい。
		病院の時間に合う、早めの便が欲しい。
		本数が少ない。
	フリー乗降	バスの通り道であれば個人の家の前でも乗り降りできると良い。
	ノゾー米牌	フリー乗降区間があったら良いと思う。
	その他	一日乗車券のようなものがあったらよい。

(参考)調査票



以下の質問に回答いただく時間が無い場合は、調査禁と返信用封筒を配布する。 返信用封筒には「配布コード(調査員名+番号)』を記載しておぎ、P1の備考欄にも『配布コード(調査員名+番号)』を記入すること。
~コミュニティバスへの御意見をお聞かせください~
問6 今回は無料ですが、「料金 大人一律 100円」だとしたら どう思いますか。 ①高い ②適切 ③安い ④分からない ⑤その他
問7 バスの所要時間については、どう思いますか。 ①立ち寄る箇所を減らして、バスがもっと早く着くほうが良い。 ②適切。 ③もっと時間がかかっても、立ち寄る箇所を増やしたほうが良い。 ④分からない
問8 バスに立ち寄って欲しい場所はありますか。
(
問9 改善すべき点など御意見ありましたらお聞かせください。
問1 O 今回と同じルート・時刻表で、料金 100 円の本格運行になった場合、利用 しますか。
①利用する ②利用しない ③分からない
問1 1 問7~9で指摘いただいたように、ルート・時刻表などを改善した場合、 料金 100 円で利用しますか。
①利用する ②利用しない ③分からない
P 2

3. コミュニティバスの実証運行調査(冬期運行分)

(1) 実証運行の概要

1) 運行日

・平成25年2月11日(月)~平成25年3月2日(土) (日曜除く18日間)

2) 運行路線・便数

	新得市街地線	屈足地区線	サホロ便
	新得駅~サホロクリニック~春光	新得駅~栄町~北西団	新得駅~サホ
路線	~つつじヶ丘~若草~サホロクリ	地~かえで団地~屈足	ロリゾート~
岭水	ニック~新得駅~あけぼの~なご	~かえで団地~北西団	クラブメッド
み~診療所~公民館~新得駅		地~栄町~新得駅	~新得駅
所要時間	46 分	53 分	32 分
		4 便	
便数	5 便	(うち一便は	2 便
		片道の早朝便)	
新得駅前発車時刻	$egin{array}{c} 8:00 \ 9:50 \ 11:05 \ 13:45 \ 16:05 \end{array}$	(6:05 幸町 4 丁目発) 8:50 12:45 15:05	17:10 19:45
運行期間	2/11 (月) ~3/2 (土)	日曜除く 18 日間	
車両数		1台	

3)調査内容

[乗降者数調査]

・バス運転手による便別バス停別乗降客数の記録。

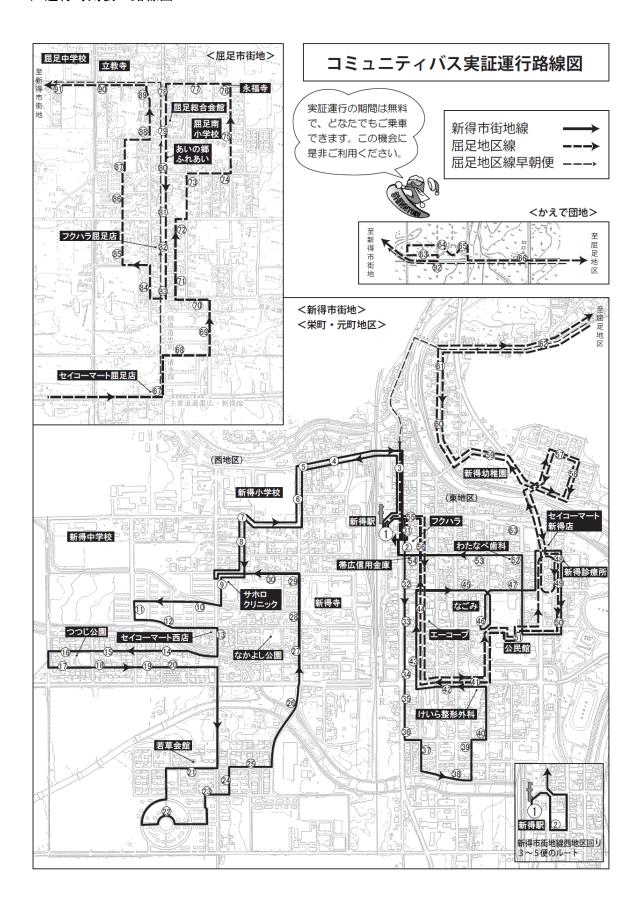
〔利用者ヒアリング調査〕

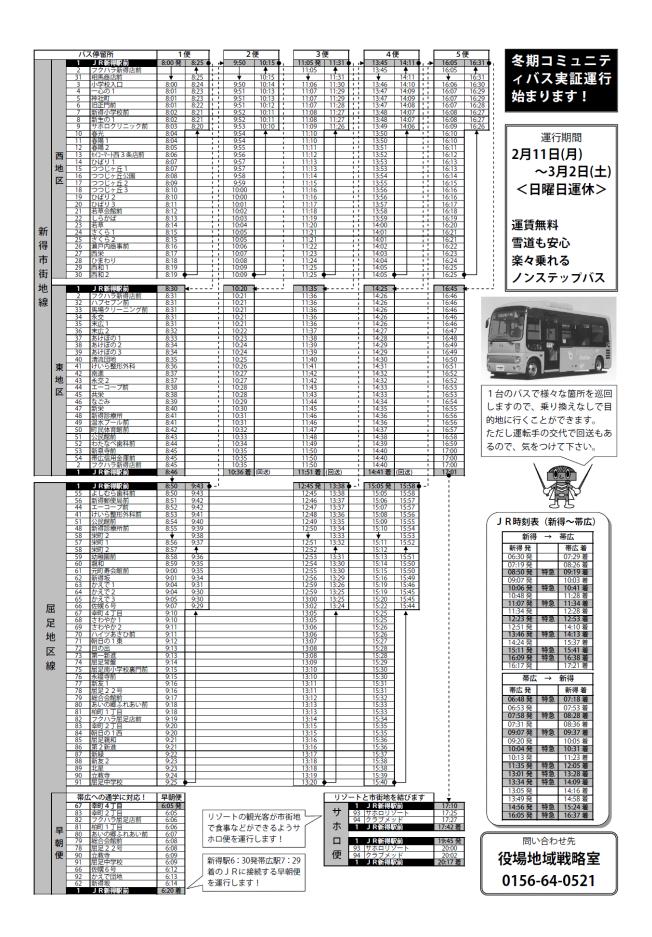
・調査員がバスに同乗し、乗客に対して聞き取り調査を実施。





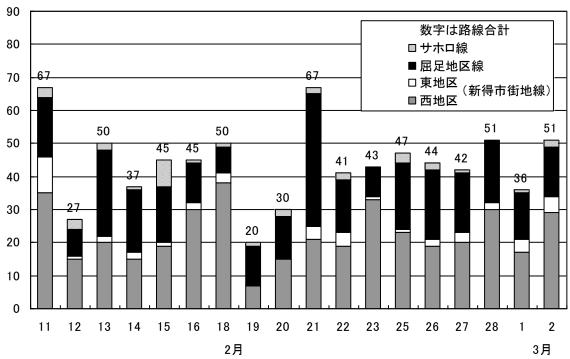
4) 運行時刻表·路線図





(2) 冬期コミュニティバス乗降者数調査結果

日別路線別乗車人員(人)



【期間集計(2/11~3/2)】

	新得市	街地線	屈足地区	サホロ	合計
	西地区	東地区	線	線	TH H
総乗車人員	405	48	305	35	793
日あたり乗車人員	22.5	2. 7	16. 9	1. 9	44. 1
便あたり乗車人員	4. 5	0. 5	4. 2	1. 0	4. 0

【バス停別乗降者数 期間集計 (2/11~3/2)】

西地区	乗	<u>降</u>	東地区	乗	<u>降</u>	屈足地区	乗	降
JR新得駅前	80		JR新得駅前	22		JR新得駅前	64	0
フクハラ新得店前	111		フクハラ新得店前	3		よしむら歯科前	0	0
小学校入口	6	1	2	0		新得郵便局前	2	0
一心の1	0	1	11.3 23 7 7 1 133	2	0	エーコープ前	16	0
神社町	24		永交	0		けいら整形前	4	1
旧正門前	2		末広1	0		公民館前	33	0
新得小学校前	5	6	末広2	0	0	新得診療所前	3	1
新生の1	4	43	あけぼの1	0	0	栄町1	3	5
サホロクリニック前	1		あけぼの2	0	0	栄町2	0	0
春光	1		あけぼの3	1		幼稚園前	1	0
<u> </u>	0		清流団地	3		親和	0	4
春陽2	9		けいら整形外科	0		元町寿会館前	1	0
セイコーマート西3条店前	11		南進	1		新得坂	0	0
ひばり1	5		永交2	0		かえで1	4	6
					1	かんじし		
つつじヶ丘1	17	24	エーコープ前	4		かえで2	0	2
つつじヶ丘公園	4		共栄	0		かえで3	0	0
つつじヶ丘2	4		なごみ	2		佐幌6号	0	0
つつじヶ丘3	0	2		0		幸町4丁目	4	2
ひばり2	8	7		5	1	さわやか1	6	2
ひばり3	5	2	温水プール前	0	0	さわやか2	2	0
若草会館前	1	0	町民体育館前	0	6	ハイツあさひ前	1	0
しらかば	3		公民館前	0		朝日の1東	4	12
<u> </u>	5	1		3	3	日の出	4	6
<u> </u>	8	4		2		第一新進	0	2
さくら2	7		帯広信用金庫前	0		屈足常盤	1	2
瀬戸内商事前	2		フクハラ新得店前	0		南小学校裏門前	17	6
西栄	7		JR新得駅前	0		永福寺前	0	2
ひまわり	0		地区計	48	69	新友1	0	4
西和1	8	3				屈足22号	2	1
西和2	24	5				総合会館前	6	8
サホロクリニック前	18		サホロ地区	乗	降	あいの郷ふれあい	6	2
新生の1	19		JR新得駅前	12		柏町1丁目	3	0
新得小学校前	2	0	サホロリゾート	4	5	フクハラ屈足店前	27	6
旧正門前	0	1	クラブメッド	19		幸町2丁目	0	1
神社町	3	25	JR新得駅前	0		朝日の1西	5	0
一心の1	1		地区計	35		屈足親和	9	4
小学校入口	0	3				第2新進	6	6
相馬商店	0	86				新緑	1	4
JR新得駅前	0	67				新友2	9	7
	-							
地区計	400	384				北星	6	<u>0</u> 3
						立教寺		
UL 55 # 51	-	ΠÆ	1			屈足中学校	2	0
地区集計	乗	降				佐幌6号	0	0
西地区	405	384				かえで団地	13	0
								0
東地区	48	69				かえで3	1	
東地区 屈足地区	305	69 305				かえで2	3	0
東地区 屈足地区 サホロ地区		69				かえで2 かえで1		
東地区 屈足地区	305	69 305				かえで2	3	0
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂	3 15 0	0 4 0
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前	3 15 0 2	0 4 0 10
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和	3 15 0 2 6	0 4 0 10
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前	3 15 0 2 6 0	0 4 0 10 0
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1	3 15 0 2 6 0 5	0 4 0 10 0 0 3
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2	3 15 0 2 6 0 5 3	0 4 0 10 0 0 3 1
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前	3 15 0 2 6 0 5 3	0 4 0 10 0 0 3 1 13
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前	3 15 0 2 6 0 5 3 1	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前 けいら整形前	3 15 0 2 6 0 5 3 1 3	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前	3 15 0 2 6 0 5 3 1	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前 けいら整形前 エーコープ前	3 15 0 2 6 0 5 3 1 3	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34 9
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前 けいら整形前 エーコープ前 新得郵便局前	3 15 0 2 6 0 5 3 1 3 0	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34 9 26
東地区 屈足地区 サホロ地区	305 35	69 305 35				かえで2 かえで1 新得坂 元町寿会館前 親和 幼稚園前 栄町1 栄町2 新得診療所前 公民館前 けいら整形前 エーコープ前	3 15 0 2 6 0 5 3 1 3 0 0	0 4 0 10 0 0 3 1 13 34 9

(3) 冬期コミュニティバス利用者ヒアリング調査結果

1)調査の目的

コミュニティバス運行時の利用状況を把握すると共に、今後の利用可能性などを把握することで、公共交通運行計画(案)の検討資料とする。

2)調查時期 調查対象

- ・平日・休日それぞれ1日の全便を対象に調査。
- ・冬期2月の調査は2/15(金)2/16(土)に実施。
- ・上記以外日程でも町職員による聞き取り調査を適宜実施。

3)調査方法

- ・調査員がバス車内に乗車し、「バス停別の乗降客数」の把握と、乗降する「乗客へのアンケート (聞き取り調査)」を実施。
- ・バス利用者や事業者の大きな負担とならないよう配慮する。

4)調査項目

【乗客への質問項目】 ※は調査員が目視判断

- ・属性 (年齢、性別**、免許の有無)
- ・バス利用実態 (利用目的、乗車バス停※、降車するバス停、行き先)
- ・秋期との比較 (秋期実証運行時の利用有無、利便性比較)
- ・要望・課題 (コミュニティバスへの要望・課題、本格運行時や有料運行での利 用可能性など)

【乗降数把握項目】注:「路線バス利用状況の把握」と比較分析するため同じ項目で把握。

- ・方向別便別バス停乗降客数
- ・児童、生徒、一般、高齢者の4区分で客数を把握。

5)集計結果

調査日		回答数	構成比
2月11日	月	12	7%
2月12日	火	15	9%
2月13日	水	30	18%
2月14日	木	18	11%
2月15日	金	46	28%
2月16日	土	33	20%
2月17日	日	0	0%
2月18日	月	1	1%
2月21日	木	5	3%
2月22日	金	2	1%
不明(郵送回	収)	2	1%
合計		164	100%

年齢帯区分	回答数	構成比
1 子供	1	1%
2 中高生	8	5%
3 一般	50	30%
4 高齢者	103	63%
99 不明	2	1%
合計	164	100%

年齢帯(10歳刻み)	回答数	構成比
10 歳代	8	5%
20 歳代	5	3%
30 歳代	8	5%
40 歳代	7	4%
50 歳代	19	12%
60 歳代	21	13%
70 歳代	63	38%
80 歳代	20	12%
90 歳代	2	1%
不詳	11	7%
合計	164	100%

移動目的	回答数	構成比
1 通勤·通学	9	6%
2 通院治療	16	10%
3 買物飲食	44	27%
4 会合趣味	18	11%
5 その他	38	23%
6 帰宅	33	20%
複数目的	3	2%
99 不明	1	1%
合計	162	100%

路線		回答数	構成比
<u>東</u> 西	地区	5	3%
西	地区	77	47%
屈足	地区	67	41%
サホロ	地区	12	7%
不明		3	2%
合計		164	100%

性別		回答数	構成比
1	男性	40	24%
2	女性	122	74%
99	不詳	2	1%
合計		164	100%

JR乗り換え	回答数	構成比
1 有り	7	26%
2 無し	11	41%
99 不明	9	33%
合計	27	100%
新得駅前降車分		前降車分

秋の乗車	回答数	構成比
1 乗車した	57	35%
2 しなかった	100	62%
99 不明	4	2%
슬 計	161	100%

乗車回数	回答数	構成比
初めて	80	49%
2 回目	35	22%
3 回目	26	16%
4 回目	8	5%
5 回目	6	4%
6 回目	1	1%
10 回目	1	1%
99 不明	5	3%
合計	162	100%

アンケート回答	回答数	構成比
1 答えた	58	75%
2 答えていない	14	18%
99 不明	5	6%
合計	77	100%

乗車2回目以上の方

料金100円の評価	回答数	構成比
1 高い	3	2%
2 適切	87	62%
3 安い	46	33%
4 分からない	4	3%
5 その他	1	1%
合計	141	100%

無回答除く

利便性の評価	回答数	構成比
1 便利になった	29	21%
2 変らない	21	15%
3 不便になった	1	1%
4 分からない	87	63%
合計	138	100%

無回答除く

所要時間の評価	回答数	構成比
1 もっと早く	10	7%
2 適切	102	74%
3 もっと細かく	9	7%
4 分からない	17	12%
合計	138	100%

無回答除く

利用意向	回答数	構成比
1 利用する	128	91%
2 利用しない	3	2%
3 分からない	10	7%
合計	141	100%

無回答除く

複数	回	答	可
----	---	---	---

本格運行時のコミバス移動目的	回答数	選択率
1 通勤·通学	12	9%
2 通院治療	45	35%
3 買物飲食	98	77%
4 会合趣味	25	20%
5 その他	17	13%
上記の合計	197	154%
有効回答者数	128	

コミバスが代替する移動手段	回答数	構成比
1 路線バス	41	33%
2 タクシー	27	21%
3 自転車	8	6%
4 徒歩	18	14%
5 自家用車を 自分で運転	16	13%
6 家族の送迎	10	8%
7 出かけない	1	1%
8 その他	5	4%
合計	126	100%

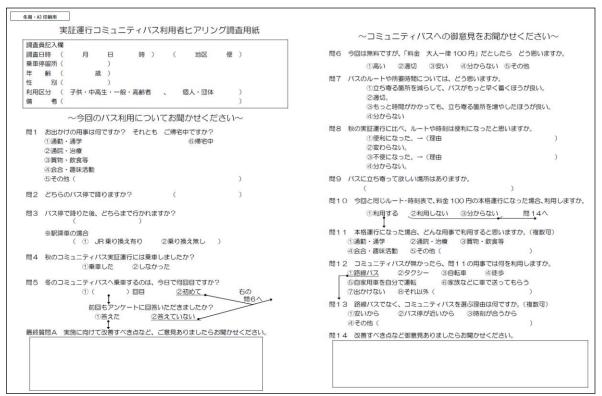
複数回答可

-=-	ティバスを選ぶ理由	全	体	路線バスの代本	りりに選ぶ方
777	71八人で送か垤田	回答数	選択率	回答数	選択率
1	安い	29	53%	21	53%
2	バス停が近い	27	49%	17	43%
3	時刻	12	22%	11	28%
4	その他	4	7%	4	10%
	上記の合計	72	131%	53	133%
	有効回答者数	55		40	

<自由回答>

	分野	意見
		とても助かる。コミュニティバスを利用したい。
		早く運行してほしい。
肯定		全快よりコース変更されてとても良くなった。
		バスは便利でとてもよい。日祝も利用したい人がいると思うので運行して
		ほしい。
	分りにくい	降りる場所がわかりにくい(車内放送がない)。
		バス停がわかりにくいので交差点の角にあると良いのでは?
		帯広→路線→西地区にコミバス乗換られれば本当は良い。
		体育館の前(屈足線)も寄ってほしい。
		過疎地を回る場合予約と言うやり方もあります。 東路線と西路線が駅に寄ってから回るのは汽車に乗る方の事を考えての
	ルート	東路線と四路線が駅に合ってから回るのは八単に来る方の事を考えての 運行と思いますが、東西が直行出来ると便利と感じました。
	70 I*	送町団地内 58 側を先に通り 57 で停車 (乗降) そのまままっすぐ幼稚園へ
		一角かうのはどうでしょうか。
		弱者支援のコミュニティバスがサホロなどのリゾート施設へのバス運行
		は違うのではないか?タクシーなどの利用者も減少し問題にもなる。
		もう少し早い時刻の便があるといい。
		もう少し遅い時間の便があれば、高校生の帰宅に利用できてよいと思う。
		西地区と東地区の夕方の便がもう少し遅い便があってもよいと思う。
		西地区、東地区の遅い便があると良い。
	ダイヤ	西地区の 15 時台の便があったら便利。
	×17′	もう少し遅い時間の便があれば高校生の帰宅に利用できてよい。
		午後4時以降のバスはいらない。のらない。
		早朝便はなぜ屈足地区のみなのか?他の地区から不満が出るのではない
		力。
改善		バスは朝8時30分位がら運行して夜4時位で良いのではないか?
		降りたい所で降りれたらよい。
	フリー乗降	フリー乗降できたらよいと思う。観光の人も乗車できるような、名所や飲
		食店を回るコースがあってもよいのでは。
		停留所が秋にくらべて不便になってしまった。
		かえでの停留所が3つあるが、1つに減らしてもよいのではないか。 西方面で6はいらないと思います。その分をわかふじの信号を左に曲がっ
	バス停	て乗降場所を必要と思います。
		立ち寄るヵ所をもう少しはなして延長してはどうか。例えば西の方で言う
		なら、わかふじの信号の所迄行き左折してサホロクリニックへ。
		まだわからない。
		回数券があったらよい。
		停留所のバス内アナウンスがほしい。
		高齢弱者が利用するのには、自分で乗り降りに自信がないのでと思いま
		す。説明は(サロン会場等)して下さいましたが、きっと聞いていただけ
	その他	たと思います。こまめに乗降場所がある声を教えてあげて一緒にのってあ
		げたいと思っています。
		切符になにか価値をつけたりするのもよいと思う。
		私も80才をすぎたら利用しないと思います。買物をしてももって家に帰
		る事がむずかしいと思います。そうなるとハイヤー?
		利用するには、西、東、屈足方面を続けてのって 100 円が良い。

(参考)調査票



4. 既存路線バスの乗降実態調査

1)調査の目的

町内を走行する既存の路線バスについて、乗降人数だけでなく利用実態(利用目的・利用階層)等を確実に把握するため、バス利用者へのアンケート調査を行うことで、公共交通対策の検討資料とする。

2)調査時期・調査対象

- ・拓殖バス新帯線のうち新得町内区間および屈足線(通院線1便を含む)を調査対象 路線とする。上佐幌線は実態的には通学バスであるため「町内事業者等ヒアリング 調査」で実態を把握している。
- ・平成24年10月9日 (火) の平日1日の全便を対象に調査おり、新帯線の上下8便、 屈足線の上下4便、通院線1便が該当する。

3)調査方法

- ・調査員がバス車内に乗車し、「バス停別の乗降客数」の把握と、町内で乗降する「乗 客へのアンケート(聞き取り調査)」を実施。
- ・児童と屈足線の高校生はアンケート対象外とし、「バス停別の乗降客数」のみカウントする。
- ・バス利用者や事業者の大きな負担とならないよう配慮する。

4)調査項目

【乗客への質問項目】 ※は調査員が目視判断

- ・属性 (年齢、性別※、免許の有無)
- ・バス利用実態 (利用目的、乗車バス停※、降車するバス停、行き先)
- ・要望・課題 (現行路線への要望・課題など)

【乗降数把握項目】

- ・方向別便別バス停乗降客数
- ・児童、生徒、一般、高齢者の4区分で客数を把握。

5) 既存路線バスの実態集計結果

移動目的	回答数	構成比
1 通勤•通学	1	2%
2 通院治療	18	44%
3 買物飲食	1	2%
4 会合趣味	5	12%
5 その他	3	7%
6 帰宅	13	32%
合計	41	100%

JR乗り換え	回答数	構成比
1 有り	4	40%
2 無し	6	60%
合計	10	100%

新得駅前降車分

年齢帯(10歳刻み)	回答数	構成比
10 歳代	0	0%
20 歳代	1	2%
30 歳代	0	0%
40 歳代	2	5%
50 歳代	1	2%
60 歳代	2	5%
70 歳代	20	49%
80 歳代	14	34%
90 歳代	1	2%
合計	41	100%

<自由回答>

意見内容

- ・新得駅からJRの時刻にあわせてバスがあるとうれしい。
- なくなったら困る。

(参考) 調査票

調査員	記入欄 以下、赤文字は調査員への指	示事項であり実際は印刷した	112
乗車個	便番号(便番号記入) 乗車係	亭留所 (乗車バス停谷	3)
性	別(ヒアリング後記入。尋ねないこと	<u>L</u> .)	
備	考 (ヒアリング後 メモ等を記入。)	
	~今回のバス利用については	お聞かせください〜	J
問1	どちらのバス停で降りますか?	(降車バス停	3)
問2	お出かけの用事は何ですか? それとも	ご帰宅中ですか?	
	①通動・通学 ②通院・治療 ③買物・飲食等 ④会合・趣味活動 ⑤その他(その他の内容を記入)	6帰宅中	
問3	バス停で降りた後、どちらまで行かれます (施設名や場所名) ※駅降車の場合 (① JR乗り換え有り	6帰宅中の場合は、自宅 地区名と徒歩何分かを	
問4	年齢は おいくつですか?	(歳)	
88 5	バスに対する改善要望など、ご意見ありま	ましたらお聞かせください	,) .

Ⅱ. 地域公共交通活性化協議会の名簿・要綱・取組経緯

1. 名簿

分野	所属団体名等	役職	氏名
計画策定	新得町	副町長	田中 透嗣
道路管理者	带広開発建設部道路計画課	課長	竹下 正一
	十勝総合振興局帯広建設管理部鹿追出張所	所長	長沢 誠
公共交通	北海道拓殖バス株式会社	営業課長	小森 明仁
事業者	新得ハイヤー有限会社	社長	石畑 政俊
	株式会社新交通	代表取締役	吉尾 正一
	北海道旅客鉄道株式会社新得駅	駅長	鈴木 敏和
	北海道地方交通運輸産業労働組合協議会 十勝地区交通運輸産業労働組合協議会	副議長	高橋 敏朗
利用者代表	新得町商工会	会長	湯浅 悟史
	屈足商工振興協議会	会長	竹浦 隆
	新得町観光協会	会長	若原 敏勝
	新得町PTA連合会	会長	乙井 逸人
	社会福祉法人 新得町社会福祉協議会	会長	古川 盛
	新得町女性団体連絡協議会	会長	中井 由利子
	新得市街地区連合町内会	会長	岩谷 吉彦
	屈足市街地区連合町内会	会長	藤井 友幸
	すこやかクラブ	会長	八幡 文雄
	報徳クラブ	会長	菅野 益二郎
	株式会社福原 新得店	店長	目黒 忠彰
	株式会社福原 屈足店	店長	大竹 誠
	けいら整形外科医院	総務課長	福木 琢也
	新得診療所	院長	佐藤 夏子
	サホロクリニック	事務長	若林 尚
運輸局	北海道運輸局 帯広運輸支局	首席運輸企画 専門官	藤田 雅博
警察	新得警察署	交通課長	山内 寛人
北海道	十勝総合振興局地域政策部地域政策課	課長	吉田 健二
事務局長	新得町地域戦略室	室長	佐藤 博行
事務局員	新得町地域戦略室地域戦略係	係長	加賀谷 敬
		主事	永田 智子
		主事	石上 陽基

2. 協議会規約

新得町地域公共交通活性化協議会規約

(目的)

第1条 新得町地域公共交通活性化協議会(以下「協議会」という。)は、地域公共交通の活性 化及び再生に関する法律(平成19年法律第59号。以下「法」という。)第6条第1項の規定 に基づき、地域公共交通総合連携計画(以下「連携計画」という。)の素案作成に関する協議及 び連携計画の実施に係る連絡調整を行なうため設置する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は、上川郡新得町3条南4丁目26番地新得町役場内に置く。

(事業)

- 第3条 協議会は、第1 条の目的を達成するため、次の事業を行う。
 - (1)連携計画の素案作成の協議に関すること
 - (2)連携計画の実施に係る連絡調整に関すること
 - (3)連携計画に位置づけられた事業の実施に関すること
 - (4)前3号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと

(委員)

- 第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織する。
- 2 前項の委員の任期は2年とする。ただし、欠員により新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 委員のうち行政機関等の職員については、その職にある期間とする。

(役員)

- 第5条協議会に、次の役員を置く。
- (1)会長1人
- (2)副会長2人
- (3) 監事2人
- 2 会長は、新得町副町長をもって充てる。
- 3 副会長及び監事は、会長が指名するものをもって充てる。

(役員の任務)

- 第6条 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐して協議会の業務を掌理し、会長不在のとき又は会長が欠けたときは、会長の職務を代理する。
- 3 監事は、協議会の会計監査を行い、会計監査の結果を会長に報告しなければならない。 (会議)
- 第7条 協議会の会議(以下「会議」という。) は会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 委員は、都合により会議を欠席する場合、代理の者を出席させることができることとし、あらかじめ会長に代理の者の氏名等を報告することにより、その代理の者の出席をもって当該委員の出席とみなす。
- 4 会議の決議方法は、会議出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 5 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して出席を求めることができる。
- 6 会議は原則として公開で行うとともに、協議会に関する情報は、新得町のホームページ等を利用して公表する。
- 7 協議会で協議が整った事項については、協議会の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。
- 8 前7 項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。 (分科会)
- 第8条 第3 条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。
- 2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

- 第9条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。
- 2 事務局は、新得町地域戦略室に置く。
- 3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
- 4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第10条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金、繰越金及びその他の収入をもって 充てる。

(財務に関する事項)

- 第11条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。 (協議会が解散した場合の措置)
- 第12条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な事項は、会長が別に定める。

附則

1 この規約は、平成24年2月17日から施行する。

3. 取組経緯

月日	取 組 事 項	備考
平成24年2月17日	第1回新得町地域公共交通活性化協議会開催	協議会設立
平成24年6月25日	地域公共交通維持確保改善事業(地域公共交通調査事業)補助金交付申請	
平成24年6月29日	地域公共交通維持確保改善事業(地域公共交通調査事業)補助金交付決定	
平成24年7月11日	第2回新得町地域公共交通活性化協議会開催	
平成24年7月12日	新得町地域公共交通総合連携計画策定調査業務企画提案 書募集	
平成24年7月24日	コミュニティバス実証運行に係る新得連合町内会役員会議	
平成24年7月30日	コミュニティバス実証運行に係る町内会長会議	
平成24年8月1日	新得町地域公共交通総合連携計画策定調査業務企画競争 審査委員会	
平成24年8月3日	第3回新得町地域公共交通活性化協議会開催	
平成24年8月7日	新得町地域公共交通総合連携計画策定調査業務委託契約	(株)ドーコン
平成24年10月5日	第4回新得町地域公共交通活性化協議会開催	
平成22年10月15日~	新得町コミュニティバス実証運行(秋期)	~11月3日 北海道拓殖バス
平成24年10月25日~	公共交通に関する新得町民アンケート調査	~11月15日〆切
平成24年12月27日	第5回新得町地域公共交通活性化協議会 および 公共交 通に関する新得町民アンケート結果報告会開催	
平成25年2月11日~	新得町コミュニティバス実証運行(冬期)	~3月2日 北海道拓殖バス
平成25年3月22日	第6回新得町地域公共交通活性化協議会 開催	